京城日報　一日夕刊

定價本紙一部金三錢　一ケ月金六十五錢
廣告料（五號活字一行金七拾錢）
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
京城大和町一丁目
發行所　合資會社京城日報社

日露新協約案 樞密院にて全部可決

日露新協約案は二十九日臨時樞密院會議に附せられ全部可決せられたり

一、支那及び西伯利亞に於ける第三國の行動が日露兩國の特種利益を阻害する場合には兩國は協同して之を防止す

一、西伯利亞及び滿洲に於ける日露兩國の勢力圏内に於て兩國臣民は互に自由に居住し營業するの權利を有す

一、露國臣民のみ航行獨占權を有せし松花江の航行は日本臣民亦之に參加するを得

▲附屬決定事項（一）軍器讓渡（二）東清鐵道寛城子第二松花江間の讓渡

舊約法復活命令の公表

二十九日午前の國務院會議につき舊約法復活に關する命令に國務總理以下署名し總統の裁可を經て二十九日夜公表せられ又た同時に國會召集其の他命令の發表ありたり（北京特電）

鹽税剩餘金交附決定

二十九日四國公使會議にて鹽税剩餘金交附は決定せられ既に銀行團に通牒せり支那政府の請求次第交附することゝなれり（北京特電）

支那の英米借款成立

支那政府は鹽税剩餘金收入以外別に英米兩國と借款契約を締結し其成立を告げたり（東京電報）

龍濟光軍大敗す 獨立せる艦隊廣東に向ふ

廣東李烈鈞軍と龍濟光軍とは廣東北方清遠縣城の東に戰ひ龍の軍大敗し死傷三百を出し退却せりと又た獨立せる艦隊の一部は護國軍援助の爲廣東に向ふとの報あり（北京特電）

佛軍無限に抵抗す

ヴェルダンに於ける佛軍の連續的抵抗はスーヴィル要塞に於ける獨軍の集中的行動を無限に防禦しつゝあり（巴里電報）

希臘借款を求む

雅典來電に依れば希臘政府は英佛兩國に對し借款を求めたり（倫敦電報）

佛國中立諸國に訴ふ 獨軍の非戰鬪員撤退要求に就て

巴里來電に依れば佛國首相ブリアン氏は中立諸國に通牒を送り獨軍がリールーベイに於ける非戰鬪員の撤退を要求せるに對し訴ふる處ありたり（倫敦電報）

東清軌幅改築

我邦に讓渡せらるべき松花江以南の東清鐵道線路は車輛連絡及び貨客運輸の關係上受渡濟の上は直ちに工事に著手し滿鐵線路と同一の軌幅に改築せらるべし（東京電報）

林男歸京期

林男は駐支公使に任命せられたる其結果北海道の旅行先より四日歸京の筈（東京電報）

大阪商船增資

大阪商船會社にては現在の資本金を倍額となすべく目下增資の計畫中なり（東京電報）

運賃問題と大連

十月迄に解決の運命を有する三線連絡運賃問題に付き大連商業會議所は特別委員を旅順に派し中村都督、白仁長官と會見し陳情する所あり次いで六月三十日役員會を開き善後策を討究せり本問題は單に會議所の問題に止めず各方面の者を打つて一團と爲し奉天其他各地とも連絡を執り大連にては近く市民大會を開き大々的運動を開始する筈なり（大連特電）

海軍大更迭

海軍省にては艦長以下佐尉官の大更迭を行ひたり（東京電報）

株式界活況

日露協約成立說傳はると共に株式界活況を呈し諸株奔騰せり（東京電報）

總督邸晩餐會

寺内總督は愈々一日午後九時十分南大門驛發特別列車にて東上の事となれるより同日午後六時三十分山縣政務總監、井口軍司令官、立花師團長、總督府内各部長官、局長、所屬官署の長、吉原東拓、勝田鮮銀兩總裁、野田東拓副總裁等三十九名を官邸に招待晩餐會を開けり

寺内總督出發

寺内總督は森、高橋兩武官、池邊秘書官等を隨へ一日午後九時十分南大門驛發特別列車に搭乘上京に決せり

仁川冷藏庫 決定

仁川に鹽魚貯藏庫を設置すべく總督府水産課より高瀨技師出張し之れが豫定地視察中なる事は既報したるが愈々仁川猫嶼舊砲臺跡に廣さ四坪軒下一丈三面土壁の鹽冷藏庫を設置する事に決定し當初は二百五十乃至三百樽の鹽魚を試驗的に貯藏する計畫なりと（仁川）

塗料會社設立協議 仁川

塗料株式會社設立の件に關し二十九日午後七時半より仁川會議所樓上に於て第二回協議會を開催し事業調査報告を爲したり

各線時間改正

本月中旬頃より實施 貨客增加に伴ふ改正

朝鮮鐵道にては豫て全線に亘り旅客の增加、貨物の激增に伴ひ各線の時間改正を爲し以て一般貨客の便宜に資する處あらんとの計畫にて頻りに研究中の處愈々大體の豫定立ちたるより本月中旬頃より右改正時間實施の事と成れり其概略左の如し

▲湖南線 にては從來木浦松汀里間を偶數日に限り往復せし一五五、一五六の兩列車即ち

木浦發	午後	一二時〇〇分	一五五
松汀里著		二時四九分	
松汀里發	午後	一時二四分	一五六
木浦著		四時〇〇分	

を毎日發著とす、之れに依り從來木浦大田間直通は偶數日にのみ二往復にして奇數日には一往復なりしものが毎日二往復と成り貨客の便宜を計る事と成れり

▲京元線 にては先づ南大門發元山著（一〇三列車）元山發南大門著（一〇四列車）の兩列車の各驛停車時間を短縮して共に十分乃至十二分を早著せしめ貨客の便に資せしむる事となすものなるが之に依りて從來元山を午前九時四十五分に發し龍山著午後五時九分にして龍山發午後五時十二分の仁川行に僅か三分の間隙ありしものに對し十六分の餘裕を持たしむる事となり京元、京仁兩線の接續を完全ならしむる事と成れり更に從來福溪止りなりし元山發一〇六列車を南大門迄延長せしむる事と成り貨客殊に鮮魚輸送に便宜を與へんとするにて從來元山發南大門著一回のものを二回と改正せらるゝなり尙南大門發瑞興行混合車の增發もある筈也

▲京釜線 中西大門發午前十一時四十二分大田著午後七時二十分（二〇列車）を運轉時間の都合に據り約一時間延發午後十二時四十五分に改正せらるべし

千出礁の告示

朝鮮西岸黃海道大東灣潮浦沖に於て海圖に記載なき二箇の千出礁發見せられたるは當時報道したる所なるが同千出礁は三日の官報を以て告示さる可し

鮮銀上半決算 營業成績は良好

朝鮮銀行にては本店及び各支店出張所共六月三十日大正五年度上半期決算を締切り七月中旬までに各店共決算書を本店に送致すべく月末株主に定期總會開催の通知を發する由なるが期日は八月十五日若くば十六日兩日中に東京銀行集會所に行はるべし尙ほ同期の成績は半島財界の發展と金融界の進運に伴ひ大體に於て良好にて加ふるに滿洲各店の營業漸次好調を示し居るに付前期及び前年同期に比するも尙ほ若干良好なり尙ほ配當は多分前同樣年七朱の割ならん

奉天鮮銀改稱

朝鮮銀行の奉天出張所は七月一日より奉天支店と改稱され同時に出張所長小西春雄氏は支店長となれり

南男爵逝去

男爵南廷哲氏は自宅に於て宿痾療養中の處數日來病勢俄に革り卅日午前六時遂に逝去す

府郡書記打合會

京畿道府郡係主任書記打合會は三十日を以て終了し一日は一同午前九時より工業傳習所を視察し午後再び道廳にて一般事務の取扱に關し打合を爲し散會したり

稻水害善後策 勸業模範場調査

南朝鮮の各地にては六月中旬より同下旬に亙り二回の豪雨あり、之が爲慶尙南北道等にありては苗の浸水十數日に及び水稻の腐敗せるもの稀なりとせず、此等の苗に對しては應急善後の策を講ずるにあらずんば遂に不毛に歸せしむるの虞なき能はざるを以て、當場從來の實驗に徵し善後の方法を左に略述せんとす

當場の成績に依るに浸水被害の程度は浸水の時期と其の時間の長短とによりて差異あり、被害の最も劇甚なるは開花期の浸水にして僅に一晝夜の浸水により全穗粃となりて慘害を來し、之に次ぐは穗孕期に於ける浸水の害なりとす、而して浸水の害最も輕きは挿秧後一二週日の間にして其の頃にありては浸水日數長きときは甚しき害を認めず、却て挿秧後三四週日を經過したるものに於て其の害稍重きを常とす、故に今回の被害苗にありても挿秧後未だ一二週を經過せざるものにありては、浸水一兩日に過ぎざるものは稻の枯損に至ることなかるべきを以て能く之を保護せば相當の收穫を見るべし、然れども浸水日數甚だ多くして稻株の腐敗せるものは應急善後の策を施すの要ありとす而して稻株の生死を判斷するには稻株を撫で上げ莖根の拔け斷れざるものは生氣ありと知るべし

▲苗代苗の應急處理

イ、苗の保護 減水に際し泥土を洗ひ、畦畔を苗面上二寸高適宜の廣さに數箇所切りて可成速に落水せしめ、苗を撫で上げ、葉先を摘み、十形を整へ、其の後除草に注意し、土壤を打返す等、稻苗の生育を促進せしむべし、落水の際苗面に泥土を全部の水を落す時は苗は苗面上に伏して泥土に密著し、其の生育の恢復を困難ならしむるを以て特に注意するを要す

（ロ）苗の假植 浸水中の苗代より可成早く苗採りを行ひ、之を浸水の虞なき畓に密植し置き水の減退したる後適宜移植すべし

備考 苗代苗の生死を判斷するには左手の指にて苗の根元を持ち、右手の指にて葉先を摘み切るべし、其の際葉先の切れて莖の斷れざる苗は生氣ありと知るべし、又肥沃なる苗代に育成したる苗は莖葉軟弱なるが故に腐敗枯死速なるの傾ありと知るべし

▲既植苗の應急處理

（イ）分株法 被害水田に新に挿秧すべき苗代苗を得難きときは、無被害水田の稻株を株分して植付くべし、無被害水田に幾分の追肥を施して株張を強めて後分株するときは多數の株を得るの利あり、但し株分は株の大小によりて二分又は三分するものとし、其の時期は大暑頃（七月廿三四日）迄とす

（ロ）植換法 被害水田多くして無被害水田の稻の幾分を株分するのみにては苗の不足する場合には高き位置にありて落水せば田となすを得べき畓の稻株を低き位置にありて落水し難き畓に株分して移植し高き位置にある畓の跡地は田として利用し、大豆、粟、蕎麥等の類を栽培するを可とす

陸稻は之を被害畓に移植するも好成績を得難し、されど其の品種にして紅租の如く水陸兼用のものなれば之を畓に移し、其の跡地には大豆、粟、蕎麥等の類を栽培するを可とす

▲稻苗應急育成法

（ホ）直播法 苗代苗及び分株苗を得難き場合には直播を行ふべし、直播は點播又は條播をなすを可とす、撒播をなすときは除草其の他の管理を行ふに便利ならず、條播をなすには前後の畦畔より一尺置きに播繩を布き、其れに沿ひて種子を下すものとす、點播をなすには五尺置位に播繩を引くか、又は蜀黍の穗揃を以て標識となし、其の間に適宜の距離に一株につき十餘粒宛播下すべし、直播に用うる種子は三四日浸種すべし、若し畓粘泥なるときは芽出播を行ふを可とす、品種は早稻を宜しとし、時期は七月上旬を限りとす、之より遲くるゝ時は登熟せざるの虞あり

（ヘ）田苗代 田に苗代を設け、苗を育成し、大暑までに之を本畓に移植するの法あり、若し適當なる田を得難きときは畓にても可なり、品種は直播法と等しく早稻を可とし、播種時期は六月下旬頃迄を有望とす、苗代用種子は浸種を要せざるも水田苗代の場合には三、四日浸種せるものを用うべし時期切迫の場合には微温湯に一晝夜浸種を行ひて直に播下するも可なり

警務統一記念日

一日は朝鮮警務機關統一の記念日なりしより警務總監部、憲兵司令部各高等官其他は正午より總監部構内集會所に集合古海總長より茶菓の饗應ありたり

水上警察講習開始

既報水上警察事務講習會は愈々一日午前八時京城憲兵分隊廳舍講堂に於て開會式擧行古海總長以下各關係課長職員及び講習員全部出席古海總長谷警務課長中野保安課長の訓示ありて九時終了し其より講習日程に依る講習を爲せり

消防講話及び實地演習

一日午後一時より京畿道警務部にては京畿憲兵隊本部警務部京畿道廳各職員及び目下入京中の府郡係主任一同參集小能道消防係主任の消防に關する講話及び實地演習等ありたり

巡査部長試驗合格發表

限て五月中施行せし巡査部長試驗合格者は七十五名にして三十日警務總監部にて發表せり

米國獨立祭

來る四日は亞米利加合衆國の獨立祭に相當するも京城同國總領事館に於ては本年は當日來賀を受けずと

仁川

▲商議役員會 仁川商業會議所にては來る四日午後四時より同所樓上に於て役員會を開會し定款の一部變更の件を協議すべし

▲船渠發起人會 仁川船渠會社發起人會を近く開會し創立準備に就き協議すべし

元山

▲大村旅團長一行 大村旅團長及び加藤聯隊長は二十七日夕來元、翌二十八日午前中は停車場前假練兵場に於て元山守備隊中隊教練の檢閲を終りたる後大村旅團長は同日午後二時須磨丸にて加藤聯隊長は二十九日夕鏡城丸にて歸任の途に就きたり

▲支那町の靜肅 元山支那町にては去る二十八日故袁世凱氏の葬儀日に當り各戶等しく軒に弔旗を掲げ支那領事館は弔意を述ぶべく朝より市內官民の出入するもの多く又歌舞音曲を禁ぜられ支那人は總て極めて靜肅裡に弔意を表したるもの如し

▲民籍事務調査 二十八日文川方面より來元した司法部立石事務官は翌二十九日元山府廳に於ける民籍事務の調査をなし三十日歸京せり

▲人事消息 元山驛貨物主任吉永武揚氏は釜山方面に旅行中二十七日歸元、土木局元山出張所長野口耕一氏は咸興に出張中の所二十八日朝歸任

咸興

▲衛生組合事務所 從來學校組合事務所に併置しありし咸興衛生組合事務所は衛生事業の擴張と共に今の儘にては狹隘なる爲め頗る不便を感ずるに至れるを以て同組合評議員の承認を受け七月より學校組合所有の建物を借りて移轉する筈なりと

▲豫審判事の交迭 咸興地方法院豫審判事たりし永島維藏氏は這回京城覆審法院に轉勤を命ぜられ七月二日赴任の豫定なるが同氏の後任としては目下光州地方法院木浦支廳在勤の判事深田留吉氏來任の筈

◎取消 拜啓去る廿七日貴紙夕刊第三千百六十二號一面中水原學校組合會議員と題せる記事中『水原の所謂元老連某々等も遂に默視するに不忍水原將來の爲め不得止云々候補者たる事を承諾せしめ云々投票一時間前に至り選擧狀態一變し開票の結果元老爾利云々』と御掲載相成候處右は事實と相違せるのみならず記事中不穩の言辭を有し爲めに從來平和の水原をして誤解を増傳し治安上面白からざる惡者有之且つ小生等は公平を保持すべき責任を職じ曾て候補人選擧に與らず從て選擧運動に何等關與せしこと無之候條本書紙上を以て取消相成度此段申入候
京城日報御中　近藤虎之助　香山弘

人事消息

▲西村駒立通信社長　一日朝退京
▲岩田要輔氏（内國通運大阪支配人）　同上
▲藤井榮吉氏（安東慈惠醫院長）　同上
▲久保要藏氏（咸興同院長）　同上
▲吉野寬氏（江陵同院長）　同上
▲鳴川通氏（濟州島同院長）　同上
▲有馬英治郞氏（義州同院長）　同上
▲松本繁正氏（大邱同院長）　三十日夜退京
▲奈良崎三郎氏（春川同院長）　三十日朝退京
▲岡多院太郎氏（大阪鐵工所長）　二日朝退京の豫定
▲チャセン氏夫妻（露國人）　三十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲木村末太郎氏（林業家）　同上
▲村田素一郎氏（鐵道院課長）　長崎縣に歸省中なりし同氏は福岡八幡製鐵所を視察の上二日夜歸任の筈
▲新田留次郎氏（新任總督府事務官）　赴任地平壤より來る三日著任の豫定
▲花田工兵大佐（築城本部課長）　入京中の所一日朝發歸東

□五月雨（正岡）○○○五月雨の皆に俳句の鼎坐哉　大垣

南鮮地方水害狀況視察並に慰問を兼ね七月一日午後南大門驛發列車にて
記者　神崎憲一
を特派致候間讀者各位に謹告仕候
京城日報社

物品購買公告

一、大麥　三千貫
一、大豆　二千貫
此入札保證金各自見積高ノ百分ノ五以上
入札者ハ國税、地方費、府税、學校組合費ノ一年額二十圓以上ヲ納ムル者ニシテ滿一ケ年以上其業ニ從事スル者ニ限ル
右ハ大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ購買ス希望者ハ本府會計係ニ就キ仕樣書、見本等閲覽ノ上七月五日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當
大正五年六月三十日　京城府

物品購買公告

一、擔桶　五百個
此入札保證金各自見積高ノ百分ノ五以上
入札者ハ國税、地方費、府税、學校組合費ノ一年額二十圓以上納ムル者ニシテ滿一ケ年以上其業ニ從事スル者ニ限ル
右ハ大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ購買ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ仕樣書、見本等閲覽ノ上七月六日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當
大正五年六月三十日　京城府

一、ボールト外式種
右購買ス詳細ハ七月一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

不肖儀先般來總督府醫院へ入院中の處漸次快方に赴き候に付本日退院仕候入院中は毎度御見舞を忝ふし感謝の至りに不堪候何れ全癒の上は直に參堂御禮可申上候得共不取敢以紙上御禮申述候
大正五年七月一日　白上貞一

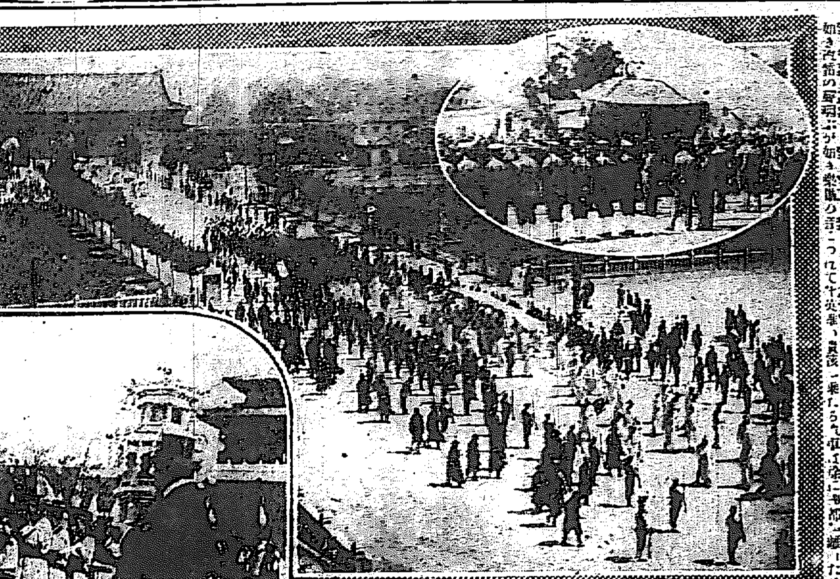
石龍子高弟隈本修平氏
今般東京性相學會朝鮮支部主幹として當地に在住し當分左記の處に於て一般の依頼に應ぜらる
◎鑑定所　京城西闇町日の丸旅館
◎鑑定料　金壹圓（性相學會へ入會者は一回限り無料）
當地　後援者一同

指環及時計
仁川本町
糸岐商店
電話三〇七番　振替京城一一七

寫眞機
寫眞材料
京城明治町二丁目
長崎屋商店
電話二一二〇番

□袁氏大葬（上）靈輿（中）中華門より正陽門に至る行列（下）導樂隊

六月二十八日は故袁世凱氏の靈轜が北京を發して彰德府に送らるゝの日なりき、この日黎總統親ら懷仁堂に臨みて祭弔を爲し喪主の到るを待ちて儀式に依り告祭し靈輿に對して一鞠躬禮を行ひたる後靈輿は國務卿外交團及び清室代表國務員及び各々の機關長官に送られ、徐ろに中華門を出で正陽門を經て京漢車站に至り、午後二時遂に泣くが如き哀笛の音につれて特別車に乘せられたり



撃沈された大越丸

遭難地は獨潜航艇の根據地

▲保險は八十萬圓　西班牙バルセロナ沖にて潜航艇の襲撃を受け撃沈されたる大越丸は越中高岡なる中越汽船株式會社の所有船にして總噸數(三〇九一噸)一八九一年を以て進水し船長は松林伊八郎氏なるが純然たる貨物船にして昨年十二月所有主と倫敦小寺商行との間に一箇月三千三百磅にて賃貸契約整ひ同月二十八日門司を發し本年三月十五日英國ハルに着し其後小寺より更に英人サヰーランプに再チャーターを爲し佛蘭西英國カージフとマルセーユ間の石炭運送に從事し既に二回航行し今回は第三回往航の途に在りし者にて客船に非ざるが故に船員以外の乘員なかりしは不幸中の幸ともいふべく我國の保險なきも英國ロイド會社に八十萬圓の船體保險を附し有たれば左まで損害なかるべしとの事なり尚松林船長以下邦人乘組員四十三名にして重たる船員左の如し(神戸)

△一等運轉士深川勝二△二等同藤田啓明△三等同福井政吉△水夫長小川要次郎△舵夫花松与次郎△機關長石原三郎△一等同吉士本木保藏△二等同新保虎熊△事務長若月五十次郎外三十三名

▲最も危險な區域　大越丸の遭難地附近は最も危險なる區域にして聯合國は勿論各中立國船舶はいづれも警戒を嚴へつゝ航行する處なり而して獨潜航艇は常に潜航艇の母艦を同地附近に游弋せしめ以て潜航艇の根據地として英佛沿岸より遠く地中海方面に互りて活動しつゝあれば豫め聯合艦隊よりは警備艦を派遣し相當の警戒を爲しつゝありしなり最近獨逸は大型にして速力絶大なる獨特の潜航艇を建造して猛烈なる潜航戰を開始したりとの報もあれば今後とても決して樂觀する能はざるべし(東・若海軍武官談)

外宮遷御

正殿御屋根と御扉の修繕

神宮司廳にては外宮御正殿御屋根の葺換と正殿御扉の御修繕の爲め二十八日朝外宮假殿遷御の儀を發表したるが其の構造等に就て三室戸宮司は「構造は古規に基き孰れも皮付の儀なる檜の黒木丸太を用ひ柱桁梁千木堅魚木など一切之に準ずるものなり假殿遷御の祭式は式年遷宮の時に準じて行はるべく祭典日取等は御治定を俟つて執行の筈なり假殿遷宮の例は御鎭座後六十回あるも遷宮より

二十名の生埋

中三名の屍體の外全部不明なり(回)　同……大雨を見たる由にて過般來降……各地に水害を生じたる……去る二十九日……

大蛇現はる

去る二十七日……岡山縣川上郡……

……僅々八年にして此事あるは恐懼に堪へずと語れり(北)

梅雨明の天候

當分快晴の見込なし

二日を以て梅雨明けとなるを以て測候所に就き天候の模樣を訪ねたるに廿九日前支那方面に現れたる淺い低氣壓は七百五十五ミリメートルの示度を以て三十日午後南朝鮮の濟州島附近に接近し一日午前中に其の進路を東北に折れ

▽朝鮮中部以南の西海岸地方に進行し來り其の中心は七百五十ミリメートルに降れり其の影響を受けて連日の晴雨天は三十日夜より一日午前中にかけて更に降雨を見たるが其の內最も多く降雨を見たるは木浦釜山方面にして最大降雨量六十五ミリを示し猶同時に朝鮮の各地共悉く降雨ありたり

▽此の低氣壓は　進行極めて緩漫にして今明日中位からざれば朝鮮圏內を通過せざる模樣あり此の低氣壓が通過すれば一時は晴天を見るやも測られざるがそれはほんの束の間にて未だ滿洲及び支那方面には續々低氣壓が現はれまた

▽大陸全體の氣壓　極めて低きを以て猶ほ未だ天候恢復の見込立たず例年京城は六月下旬より八月中旬までが多雨期に屬し居るを以て此の間は降雨若しくは曇天多く快晴の日は少きは免れざるべし(一日測候所員談)

□東宮舞鶴行啓

東宮殿下には來る四日午後零時五十五分京都驛御發、同一時二分御發、綾部へは三時十七分御着、同廿五分御發にて四時十分舞鶴驛に御着の豫定なるが鹵簿は人力車の場合は先驅警官、鎭舞司令長官、東宮內舍人御先導、東宮武官、皇太子殿下、東宮侍從長、同侍從、侍醫、大夫武官長、主事、知事、衛戍司令官等續き御徒歩の場合は先驅警官、東宮內舍人御先導、東宮武官、皇太子殿下、供奉員、地方官、後驅警官の御順序なりと承はる

實話　子故の犯罪 ―4―

▽ア、無智の悲しさ　『俺の伜を何故訴へた』と蔡東秀に喰つて掛つた安相鉢は東秀の辯解に依つて彼が憲兵隊へ伜を訴へたのではないといふ事だけ納得したしかし『強盗の人相をその樣に詳しく話せば宛然俺の伜の人相書きを渡したのと同じ事だ、困つた事を言つて呉れた』と相鉢の顔は愈々嶮つた。

それから一と月ばかりしてから『石山里の蔡兩班の息子は強盗から一圓奪られたばかりに今年の夏まで食べる米を強盗の親父さんから貰ふ事になつたさうだその代り盗強に遭つたのは嘘だつたと役所へ申し出るのださうだ。』と云ふ噂が誰云ふとなく傳はつた

或日洪淵杓と云ふ男が蔡東秀を訪ねて來た、さうして『蔡々私の隣りの安兩班の若旦那の公判が有るに付ては貴方樣が證據人として呼び出されると云ふ噂ですが眞實で御坐いますか』と訊ねて『證人に喚び出された事は喚び出されたが何にしろ京城まで行くには金もかゝるし暇も要るから書面を出すだけにして京城へは行くまいと思つて居る』と云ふと『實は其の事に付いて私は安兩班から頼まれて貴方樣にお願ひに上つたので御坐いますが、如何でしよう一つ京城へお出でを願つて』と洪は東秀の耳に口を寄せた。さうして京城往復の旅費それから京城に滯在して居る間の費用は全部出す、其の上賴みを聞いて呉れゝば莫大のお禮をするから『どうか其時の強盗は此の人ではなかつた』と立派に證據立てゝ貰ひ度い奪られた本人の貴方樣が其の強盗は確かに此の人では無いと云つて呉れさへすればそれに越した利益の證據はない、「僅か一圓の金で強盗と云ふ怖ろしい罪に陷る若旦那が助かると云ふ譯だ、たゞ此の人では無いと云つたばかりぢやあ不可ぬ。『その強盗には右の手の食指が無かつた』と云つて下さい。」と僞證と僞證教唆と云ふ事がどれだけ惡い事で何んな制裁があるかなど、云ふ事は頭で知らぬ蔡東秀と洪淵杓とはその事に就てそれから後も幾度も相談した。

米食共通會

趣意は米食の普及

洋の東西に分れ山川氣候等の異同によりて吾等は古來穀食を主とし白人は肉食を旨とするの別を生ぜるが方今世界總てのものが共通を要する時食物の共通と云ふ事も亦閑却すべからざる事なりとて今回吉原東拓副總裁勝田鮮銀總裁野田東拓理事原田京城興銀兩總裁其他京仁兩會議所會頭天日常次郎氏等の發起により來る七月三日(月曜)午後正七時より朝鮮ホテルに開會する事となり既に各方面に案內狀を發したるが當日は京城各國總領事領事も列席を請ひ兎に角米の美味なる事を西洋人に知らしめより米食に馴らし其處に食物共通の端を見出さんとするにありと

二十八萬三千餘圓の請求事件

英國金鑛會社京城支店を訴ふ

京城樂園洞鑛業權者崔鎭大は崔鎭瓘を訴訟代理人と定め西小門町所在英國金鑛會社支店コールブラン、ボストウイツク、クデヴニロツプコンパラーを相手取り火藥鐵引渡請求金額二十八萬三千六百六十二圓の訴訟を此程京城地方法院に提起したり

▽原告の請求理由　を聞くに原告は明治二十六年中咸南甲山郡鑛東面銅店里に銅鑛を發見し同年中出願して其筋より許可を得爾後投資採掘に從事し明治三十九年迄繼續したるに同年七月十二日鑛業令の實施と共に鑛業權の喪失に依り四十年十二月二十七日附を以て時の農商工部に出願したる際前記コールブラン會社よりも同鑛山の出願を爲し其結果先願なりし金鑛會社に許可されたれば原告人の

▽從前採掘に使用したる諸機械初め一切の私有財産は相當代償を以て金鑛會社が補償をなす契約の下に權利を讓與したるに拘らず契約の補償をなさず其儘にて打過ぎ殊に本年五月中新鑛業令の下に全權を占得したるため原告人の大損害となれり依て前鐵五千五百六十二噸を引渡すか之が賠償を五十一圓に定めたる前記二十八萬餘圓を交付するかを交渉したるも談判不調の爲め遂に右の訴訟に及びたるものなりと右訴訟に要したる印紙代のみにても五百八十三圓を貼付し居れるが近來稀なる大訴訟として一般注目し居れり

◎白晝の火事騒ぎ

場所柄丈に一時は混雜

一日午前十一時頃總督府と道路を隔てたる南山公園下なる請負業長門屋より出火せしかばスワ大事と會計課の安藤用度主任指揮の下に巡視小使等消防車輛の働きをなし總督府備付消防用ホース二本を引出し消火栓を拔いて盛んに水を注ぎ一方家內の袋戸棚等を打壞し消火に努めし爲め幸ひに廿分位にて消し止めたり恰も朝日……原因は炊事場の如くなるも目下取調中損害は極めて輕微なりき

◎轢死

全北益山郡黃登面黃登里居住農魯相五(三二)及び同里居住李正律(三二)の兩名は去る二十七日午後九時二十五分頃黃登驛より南方十一丁なる湖南線鐵道原川橋上に於て進行中の列車に觸れ慘死を遂げたるより急報に接し裡里憲兵分隊より憲兵現場に出張し檢視を遂げ屍體は家族に引き渡したるが原因は泥醉の結果列車の進行に氣付かざりし爲ならん

◎停學六十二名

同盟休校をなせる高岡中學校四五年生は二十八日午前高岡公園に集合の上出校し校長に對し運動帳に血判したる六十二名が今回の騷擾を惹起せるものにて他生徒は同盟を餘儀なくしたるものなれば故罪なし處分あるならば甲乙の區別なく六十二名のみ均等の處分ありたしと要求し職員會を開きたるも衆議容易に決せず夜に入り遂に生徒の意志を容れ六十二名は同一に何れも三箇月の停學を命じ今學年間其執行を猶豫し二十九日一同出席授業を受けたり(大阪)

◎開城の火事

六月卅日夕方開城大和町料理家水月樓より出火したるが內地人の集團地たる大和町の眞中に起りたる事とて一時大騷ぎを演じたるも消防隊の活動に依り全燒に至らずして消止めたり

◎馬山線時間改正

水害の爲め不通となり渡船連絡を爲しつゝありたる馬山線列車時刻は三十日より左の通り改正せられたり

	前	後
馬山發	八、三五	三、〇〇
現場著	一〇、〇三	四、二〇
現場發	一〇、三〇	四、五〇
三浪津著	一〇、四一	五、〇一
三浪津發	一一、〇五	六、二〇
現場著	一一、二〇	六、三五
現場發	一一、五〇	七、二四
三浪津著	一二、二八	九、〇一

◎汽船の衝突

北海道函館區曙町鎌田文吉所有神龍丸(九十八噸)は去る廿七日午後八時頃新潟港沖合にて長崎汽船會社第二長崎丸(二百五十六噸)と衝突し神龍丸は直に沈沒したるも乘組員は無事救助されたり倚ほ神龍丸の積載貨物は石炭五十噸のみなりと

◎支那巡り

鐵道局副參事　村瀨鎌次郎氏談

‖各國租界の設備‖兌換停止‖北京の雅觀‖邦人勢力‖新更紗‖大きな背景‖撫順の日本人

奉天、大連、哈爾賓、長春、吉林其れから天津、北京と一巡した上での感じを一言にして言へば支那と露西亞の大きな事、其間に介在してる日本の小さな事である天津に行つて各國租界の間に伍した

▽日本租界の　市街設備などから建築の有樣などの貧弱な事が列國の租界と對時して如何にも肩身を狹める樣な氣がする北京は表面上更に何等の變異もなかつたが丁度例の兌換停止で紙幣が通用しない爲めに何處に行くのにも銀を持ち歩かなければならないのは不便であつた市中は營々として商賣もしてるし興業物等も盛んに鉦太鼓打鳴らして騒いでた唯東京の帝劇に匹敵すべき

▽第一劇場と　云ふのが閉鎖してゐたことゝ市中を漫歩してゐる巡警と兵卒が左腕に黑の喪章を附してゐたのが殊勝らしく見えた二三の支那人を捉へて聞いて見ても『袁さん死んだ大變よろしいあります』と平氣である宮殿を見に行つたら喪中の故を以て見せなかつた孔子廟、喇嘛塔等を一盼し滿壽山に馬車を驅り其

▽壯麗華美に　何分にも驚いたが支那の景物は總て厖然として居て日本の今更に矮小な感じのみする處が支那とは違つた意味に於て現出してゐる處が哈爾賓にはまだ仲々澤山露西亞人がゐる例の猥褻な活動寫眞などは影を斂めてゐるが其れでも夜の十二時過ぎから開始される踊りは賑つてる商店を見ても依然として獨逸品が並べてある無論後からは輸入されないのだから

▽有りッ丈け　の品を賣盡したら夫れでおしまひなのだ相だ此邊にも非常に大きな處があると思つたが更に或る商店で更紗の並べてあるのを見た同じ絹更紗でちつとも違つた處はないのに一方は一露尺八十哥だと云ひ他方は六十哥だと云ふ何處が違つてると聞いて見ると何處も違つてはゐない、と答へた其れなら値段が同じでなければならない筈ではないかと云へば、其れでも一方は戰爭前に仕入れたので其時は値が安かつたし他方は戰後に

▽値が上つて　から仕入れたのだ隨つて價値が違ふのだと答へた此正直な處に又露西亞と云ふ大きな背景が現出してる其處にはコセ〳〵ついたまやかしも何もなくさものんびりとした大きなものがある日本の商人なども多少此邊の事を學んで置かねば世界的市場に立つて行く事は六箇敷いと思ふ現にチユーリン(哈爾賓に於ける代表的デパートメントストア)に並べてある商品が

▽戰爭前迄は　すべて獨逸品のみだつたが戰爭と同時に後を補充する事が出來なくなつた其隙などは全く日本商品が侵入しなければならない處なのだけれど日本商品は粗末で到底も獨逸品の代りになんかなれないのでチユーリンも在品を賣つてしまつた後では仕方がないから店を休まなければと云ふ仕末だし私が此旅行中唯一つ愉快だつた事は撫順に於ける日本人の發展で完備した設備の堂々たるものゝあつた

書畫骨董定期入札　高麗谷館、岸谷鬼念佛、狙仙猿、下田切、韓幹、張瑞圖五條字者、渡邊崋山二行書、香坪竹、其他珍品澤山竹根翠、象牙彫珠數、自在置、其他澤山器物……何時にても入札被下度候 除品數品一切不致候間下見の上入札被下度候 七月一日晝夜共二日午後六時迄下見同六時より開札引續き競賣　京城南山町三丁目(電話一二二三番)　佐々木泉古堂

謹告
當店は明治四十年創立以來十ケ年の星霜を閲し今回解散仕候營業中は格別の御鍾愛を蒙り順境裡に經過致候段難有奉存候今後は前主任松本豊作之を引受け引續き營業仕候間從前の通御引立之程奉希上候敬具
合資會社熊野商會　清算人　成江松之助

謹告
小生儀合資會社熊野商會解散の後を引受け商標商號營業場所什器一切を讓用し引續營業仕候間何卒不相變御眷顧御引立之程奉希上候追て先般來鋭意商品補充中の處昨今殆ど荷揃に相成候間多少に不拘御用命相仰度奉願候敬具
內地產鴨綠江產豆滿江產木材　豐國火災保險株式會社代理店
材木商　熊野商會　松本豊作
朝鮮京城古市町十四番地　長電話一八二番　振替貯金一三八五番

見よ半島言論界の權威▶
朝鮮及滿洲　七月號　第百八號
毎月一回一日發行　定價一冊廿五錢　內地鮮滿主なる書店に有り
京城旭町　朝鮮雜誌社
◎平和か阿諛迎合か……釋尾旭邦
◎日本に讓受んとする東清鐵道の南半……長春　山田生
◎支那及滿洲と投資の根本政策……高橋男爵
□醫學界に及ぼす歐洲大戰爭の影響……芳賀博士　□毛髮の人類學……久保博士
◎世界の時局と經濟政策……添田博士　□朝鮮政變史……今西龍　□詩聖タゴールの講演を聽きて
□中歐經濟同盟と獨逸の輿論……渡邊覺一　□佛丘(最後の告白)
□編輯室より……釋尾旭邦　□支那遊記……釋尾旭邦
◎支那約法復活問題……高橋學士　◎秦手以志日記
◎鮮銀の滿洲發展……田原滿日主筆　◎母國風塵錄
◎袁世凱の印象……諸名士　◎總督府食堂覗き
◎滿洲の人物……白玉浪人　◎風聞駄語
□副總督の稱ある兒玉秀雄を論ず……釋尾旭邦
◎滿洲の水田の農村經營……渡邊學士
◎社會問題として見たる娼妓と花柳病……宮館署長
◎內地人朝鮮營農上の失敗原因……菅學士
(附錄)鑛山界
□朝鮮の鑛業に就て……上田學士　□鑛山會社設立に就て……竹下康之
□鑛業漫語……大石學士　□鑛山家と經營……振り記者
□朝鮮の鑛業一班……　□鑛山家訪問……印
□經濟同盟と將來の鑛業戰……牧山耕造　□象記……天涯生
□鑛山師の內幕……

景品附
例年之通り　七月一日より　十五日迄　中元大賣出　大見切品澤山
京城本町　辻屋

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅桑町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城四〇〇番

天候　……少雨後曇
▲朝鮮西岸沖▲低氣壓の示度七……▲進行方向　北北東▲記事……

……住宅五棟水車小屋二棟土壁學校事務所で忽ち姿を隱したる由鮮人は大蛇の……室一棟は押流され男七名女十一名外出現する年には必らず水害あり十數……男女不明二名合計廿名生埋めとなり一年前にも曾て大蛇が姿を現はし春を一大作……件に關聯せる小山永次小畑……川か河原田ことみの四名は……

入港新羅丸二等客 一等 石坂右玄外八名 二等 片岡連治郎、壬生まさ、南地つぐ外五名

事務員としての 朝鮮の婦人

□總督から表彰さる□ □土地調査局事務員□

□朝鮮にも婦人の職業がだん／＼增えて來ましたが殊に土地調査局の面積測定の如きは日給六七十錢を貰ふ程の立派な職業となりました

□仕事はプラメーターを用ゐて耕地面積を計り出すのでありますが却々綿密を要する面倒な仕事で鳥渡素人には出來相にもありません

□二十九日總督閣下から御褒美を戴いた趙震淳（二十）といふ婦人はこれまで五年間一日も缺勤なく此所でまめ／＼しく立働らいた感心な人でありますが殊に一日六百筆以上の測定を寸毫の間違ひもなく片付けるのは全く天才的な技倆であると驚かれて居ります

□併も製圖課男女事務員二百餘人を通じて此の婦人が一番よく出來るといふので昨年九月から月俸を戴くことゝなり同課の監督藤本さは子さんの助手となりました

□趙さんは總督閣下から名譽の御褒美を戴いた當日養正商等普通學校の教師權晶淵氏（二七）と芽出度い結婚式を擧げましたが一日に二度もお芽出度が重なり大變悦むで居ます

□猶ほ妹の趙さん（一八）も只今日給七十錢を貰ひ立派な成績の人であります

獨學で通した

植村先生のお話

▲今回萬國傳道の役め選ばれた植村正久氏は東京富士見町教會の牧師として日本基督教界の元老たる人である

▲氏は年少にして既に獨立自活の生涯を送り其の慈母と共にあらゆる社會の辛酸を嘗めた人である

▲氏が十三歲の頃氏のお母さんは將來英語を識らざれば世に立つ能はずとて自ら愛見を勵まして師不の稽古に努めた賢婦人である

▲當時氏のお母さんは一冊の手帳に片假名の要點を記し自ら其の讀方を正しつゝ氏をして朗讀せしめたものである

▲而もお母さんは自ら漢文學の一切を斷たに隣ぜざる人であつたとは實に感ずるの外はない

▲氏は後遂に横濱に出て一外人の家に勤學することゝなつたが其の慈母と離居するを厭ひて毅然として少さき胸を痛めたる可憐なる逸話もある

▲後自ら英學塾を開き夥多の名士を養成した時代もあるが終始一貫獨學で押し通したのは甚だ他に類のない人であらう

▲氏が今日の如き偉い人となられたのは實にあらゆる辛苦の困難と鬪はれた結果であつて氏の如きは實に堅鍛されたる人格の人と申さねばなりませぬ（井口牧師談）

新婚の『みそさゞい』の喧嘩

□小島の社會の婦人問題□

◇可愛らしい『みそさゞい』の若夫婦が森の小枝に巢を拵へました

◇拾度人間の花嫁花婿が勸工場から世帶道具を買つて戾るやうに二人は仲よく藁屑や小枝を啣へて働らきました

◇その間に夫婦の睦まじさを證據立るやうな小さい巢は綺麗に出來かゝりました

◇雄の『みそさゞい』は新婚の生活が永久に續いてくれるやうに嬉し相な眼を輝かしながら可愛らしい聲をたろ／＼囀り初めると見る間

◇そして俄かに巢の縁をぐるりと廻りました

◇その時雌の『みそさゞい』も嬉しさを敵し切れないやうな樣子で可愛い眼を瞬りながら自分で自分たちの仕事の上手なのに感心して居るのでした

◇が突然黙いたやうに眼を三角にして小さい頸を傾けたかと思ふと俄かに意地惡い裏店の嬶が睨み立つやうな面色をしました

に巢の中から長い一筋の糸をズル／＼と引出しましたら『慳貪ものは邪魔つ氣ちやありませんか』とも云はずいきなり花婿に突つ掛つて行きました

◇そこへ花婿の『みそさゞい』は愉快な羽音をさせながら多くの人間の花婿がするやうに小さい眼尻を下げながら後の小枝に默つて見て居ました

◇此處で二人の間には激しい口論が始まりましたが結局辯にまけた花婿が『面倒臭い、腕力沙汰だ』といふやうに突然激しく突つ掛りました

◇聽て『何するのだ？』とか何とかいふのでせう、銳い鳴聲を擧げたかと思ふ雄鳥は雌鳥に飛ついてきました

◇しかし花嫁は先刻からイラ／＼して面倒臭さうに働らいて居た處だからモウ樂しいホームなんか考へてゐる隙もありません

◇可愛い眼には角を立てゝ『それぢやモウ離婚しませう』と云はぬばかりの態度をしました

弱い花嫁はまた『矢つ張り妾の方が豪いわよ』と嘲るやうな態度をしました

◇『それぢやモウ離婚しよう』ぢやないか』と云ひながら二人は西東に飛び去りました、綺麗な巢は空家のやうになつて雨露に晒されました

△……にて故郷に行きまして見ましたのは一箇月ほど前に本郷の牧師が……

□新茶日記の一節

めちや吉

今日はお客が忙しかつたので、二階の叔父さんがお糖菓をこしらへて與れた。僕はお糖菓が大好きだ。……二階の叔父さんは素敵に食べ……

とうとう御糖菓が眼な剝いて居るんだもの。隣の……が頭で茶碗が山になつて居る。……二階の叔……に見せたら佐賀さやがつた。

神社と教會とお寺

○西本願寺（若草町）二日午後二時より婦人會例會あり「婦人と迷信」佐原總長『佛教の御利益』中布教員、午後九時より佐原總長『他力信仰の必然』木村開教使

○仁川金光敎會 一日午後八時三十分より信徒の青年會を開催

○日曜學校 二日午前八時より西本願寺にて臨時面白きお伽噺等あり

○性相學講話 石龍子兼前學本氏の講話は一日午後七時より白駒町東拓社宅內倶樂部にて開催

○メソヂスト敎會（南大門通）二日午後一時より日曜學校、午後二時より岩城牧師の『靈と肉』、午後八時三十分より同牧師の『如何にし……

○京城基督敎會（南米倉町）二日午前十時より山本牧師の『要なるべきか』、午後八時より『義に從ふ生活』

○日本基督教會（長谷川町）二日午前八時より日曜學校、花の集り午後十時より井口牧師の『基督教者の事業』、午後八時より國內牧師の『愛の……』あり

○龍山日本基督教會（漢江通）二日午前八時四十分より日曜學校、同十時より『有生の歡喜』伊藤牧師、午後八時半より『信仰の威力』井口牧師

○妙心寺（長沙洞）二日午前九時より座禪會の提唱あり

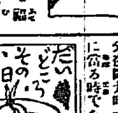
○本能寺（壽松洞）二日午後二時さ午後八時より例會法華經の講讀及び說敎あり

○曹洞宗別院（若草町）二日午前九時より日曜講話と茶話會

○本誓寺（龍山元町）一日午後八時より土曜說敎あり

○東本願寺（南山）一日午後八時より土曜講話あり

◎次第に長くなる夜 去る二十二日の夏至以來夜は次第／＼に長くなつて行きます、夏至は一年中最も日の永い時で晝間十四時四十五分夜間九時十五分で晝の長さが夜間の一倍半以上に當る時であります



◎胡桃豆腐の餡かけ 胡桃は澁皮のまゝ湯の中に入れて十分間計り過ぎてのち皮をむき擂鉢に入れて擂りつぶし一合の胡桃なれば葛一合水一合と……の砂糖と鹽にて味をつけ之を裏ごしの中にいれて擂り……火にかけてれり十分色が變り透明になるたるとき鍋をおろし直に布し箱にながしいれ固まりたるところ之を適宜にて椀に盛り味よき薄葛の餡をかける

番茶のあこ

李王職の經營になる水原の牧場では今回可愛らしい仔馬が三頭生れました△そこで名附親には近藤事務官が選ばれてあゝでもないこうでもないと首をひねられた揚句△いやこれならばと記されたのが『華山』に『八達』に『西湖』の三つ△しかも『西湖』は牝馬の名前には面白からうと詮い鼻をピコ／＼△そこで或る人が△『成程うまい命名で御セイコでした……』

商況

東京株式特電

[illegible]

債劵現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

◎深川廻米の減少 一時漫性的に豊節を告げられたる各產地の在米は昨今に至り大に減少し二百萬俵台となり……

◎團米の減少 ……

◎天氣概況（七月一日午前九時發）……

◎暴風警報（七月一日午後九時發）……風雨强かる可し ▲低氣壓位置 ……

◎牛皮頓挫す ……

◎三圓迄買上 正味七十二……

◎來一大頓挫 ……

◎無切迫 全然交涉の餘地 ……

◎新小麥產地高 ……

◎見當產地相場は九圓 ……

◎石油の其後 ……

◎細布更に引締る 高賣一錢五厘 ……

下關相場 ……

田中金兵衛 電話三六二番

京城正米 ……

京城雜穀 ……

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話……

南大門の廻穀 ……

仁川現物市場 ……

生魚市場 ……

仁川期米 七月一日前場 ……

新甫十一圓八十 ……

十九錢の移り 錢も九錢上鞘に發會 ……

三十錢上鞘の入電 ……

大阪六節四十八錢 九節五十三錢と高 ……

移して激戰の體 ……

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話……

市場零聞 ……

▲新甫發會 ……新規に乘り 替へ賣物多く ……

▲前場の手振 ……氣崩落模樣 ……

▲中限解鞘 內 ……主力筋は依然見送り ……

▲發會不勢 ……買物多く嫌氣手仕舞 ……

▲直に逆鞘 ……頗る伸力の鈍 ……

▲當限商內なし 氣勢を示し叩き買ひに燗賣 ……

出限月の逆鞘 大海上に乘り ……

仁川米豆取引所 一日の九月限 ……

小賣白米 ……

演藝案內

黃金館 電話二八五二（階上）二六三七（階下） ……

壽座 本町五七八 電話 ……

大正館 櫻井町 電話八七三 大好評!! 大盛況!! 大冒險大探偵大活劇『ハート』の3 初編より見ざれば全編の意味を解せず 連日滿員御禮

浪花館 明治町 電話二六〇番 ……

御成座 成町 電話二九一 ……

若葉會主 ……

代理店歡迎

各府縣廳所在市ニ一ケ所ヅツ販賣店及代理店募集ス ……東京書院塗料部 東京四谷愛住町 電話番町……振替貯金口座……

入院隨意 京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 電話二六〇番

最上醬油 京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

硝子板各種 大連市信濃町 松島商店 長電話六一六番 振替貯金大連三三七番

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話九四……

陸軍御用達

特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ 太平 田支店 電話 ……壤支店 電話五一二番 醸造元 京城蓬萊町 三巴酒造場 電話一〇六七番

遊漁御案內 仁川用達社遊漁部 仁川仲町三丁目穴門通（電話……）

夏は一寸した病氣も御用心が肝心 贊化堂にはよい藥がある事を常々から御承知下さい 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番

開業御披露 拜啓愈々盛夏の候各位益々御清穆の段奉賀候陳れば今般當店に於て朝鮮特有產大理石を採掘し卓越せる技巧ご斬新なる體裁各種御注文に大々的勉强且つ迅速に御用に應ずべく候間多少に不拘御用命仰付被下度奉懇願候 敬白 京城本町二丁目（電話四三〇番） 東洋銘石商會營業部 森啓助商店 第一製作所 京城監獄內 第二製作所 原石置場（京城太平通二丁目一〇三） 原石並に庭石置場 京城南大門外東亞煙草株式會社敷地

宮本武藏

第八十六回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

彼の老人大口開いてカラ／＼と打笑らつて　老「コレ能く聞け、與の武藝者といふものはな劍術のケの字も無暗に言ふものではない生兵法は大疵の基といつて出來もしない奴が僅かばかりの修業を鼻に懸けて己は劍術遣ひだといつたやうな顏をする、貴樣の師匠の桃井源太左衛門とかいふ奴は竹の切口に水が溜つて其中から湧いて出た孑孑見たやうな奴だ武藝者もないもんだ、その孑孑の弟子といふなら貴樣はミジンコだ、よく場末へ往くと金魚屋の老爺が溝を搔廻して居る、アレはミジンコを捕つて金魚の餌にするのだ、貴樣などはその金魚の餌になる野郎だ、爾いへば餌になりさうな面構へだ　太「ナンだと　老「アハヽヽ、怒つた面は猶面白い凡そ劍術の名人といへば當時天下の指南番柳生但馬守、小野次郎右衛門、柳生十兵衛、吉岡兼房齋、若年ながら宮本武藏などゝいふ面々何れも非凡の技倆だ、貴樣の師匠の桃井などは芋堀劍術だらう　太「イヤ此の老爺口逹者な奴だ、又劍術の事を大層委しく知つて居るが、劍術は些とは出來るのか　老「俺れは名人だ　太「姓名は何といふ　老「姓名は忘れた　太「己れの姓名を忘れるやうな老耄爺、シテ何流をやる　老「俺は誰と勝負をしても負ける事はないから、勝流だ、太「勝流なんて流名があるものか、我が先生を孑孑といふなら論は無益だ、孑孑だか名人だか先生の所へ行つて勝負をしろ　老「ヨシ此んな所へ來て芋堀に劍術を敎へて居る心得違ひの奴、以來芋掘に劍術を敎へぬやうに意見をしてやらう、サア一緒に行かう　太「宜しい此の老爺何うするか見ろ、身體のきかぬやうに引撲いて呉れるから」と表へ出る間に彼の老人は竹の杖を突いて出る、太三郎は　太「今直ぐに來るから暫部はアノ儘にして置いて呉れ　亭「宜しうございます、是からドン／＼老人の後を追て來たが遂に見失て終つた丗方は老人が親作村の桃井源太左衛門の道場に來て　老「お頼み申す　○「ドーレ　老「桃井源太左衛門の道場は此方か　○「左樣何れからお來でゝ　老「拙者は劍術修業の者だ一本勝負をいたしたい　○「エ、御姓名は何と仰しやる　老「姓名は年を老つて忘れて仕まつたが松屋といふ料理屋で太三郎といふ者と約束をして參つた　○「ア、那れは當家の門人で西川村の若旦那、其では此方へお通んなさい　老「ウム宜し宜し」と道場へ通る、太三郎がドンン／＼やつて來た　太「今此處へ老爺が來やアしなかつたか　○「來ました　太「何うした　○「先生と一本勝負をしたいと云つて道場へ通りました　太「左樣か」と奧へ來て見ると源太左衛門一杯機嫌で寢て居る　太「先生先生、何うか起きて下さい　源「何だい　太「何といふ奴だか分りませんが、貴方の事を孑孑だの狂人だのと惡口を吐いたから松屋より此所へ連れて參りました、一本勝負をして下さるやう、此儘に棄て置くと道場の寂になりますから」源太左衛門大きに怒つて道場へ出る　源「拙者は桃井源太左衛門で、老人は何れからお來でだナ　老「俺は天竺浪人だ、姓名は年を老つて忘れて仕まつた、流名は勝流といふのだ一本勝負をいたさう　源「承知いたした」と後鉢巻襷を十字に綾なして蟇肌木劍を帶して　源「イヤ老人支度をなさい　老「ナニ支度には及ばぬ、無手で宜しい　源「左樣か」といつたが、心中に悉く怒つて、ブーンと頭上へ打込んで來るのを、ハッと體を躱はしたかと思ふ裡に、飛込んで來て桃井の鼻を摘んだ、是はと思ふ裡に足を掬んでズドンと抛り付る起上らうとする所をグイと抑へつけた　老「サア桃井何うだ、太三郎來て見ろ貴樣の師匠でさへ此んなものだ土掘じり劍術が何んの役に立つものか、以來は劍術を止めなさい、源太左衛門全體其方が宜くない、百姓人抔には劍術を敎へぬが宜しい　源「恐れ入りました、シテ先生の御姓名は何と仰つしやいますか　老「イヤ姓名を申すに及ばん、此後心を更めなさい」と杖を突いて往つて了ひました

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚科
皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器病　機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）
佐藤醫院（電話一一七三番）

京城南山町三巴城館通　電話二九二〇
齒科診療　橋本齒科醫院
齒科醫學士　橋本清次郎

●中元贈答用ホーカー液　東京洗行化粧品中第一位を占むるホーカー液は素顔を美しく既に素肌を細かに白く又絶對に日燒を防ぎて顔面の風采たらしめたるを以て天下一品の帶を博しつゝあるが其中最大瓶は一個宛桐箱に納め特等贈答品として最も好適也又ホーカー液は家庭全員の使用品なれば男女老幼舉て歡迎せられ中元の進物としてホーカー液は朝鮮人參應用の美味滋養に富める家庭名薬なるが之亦中元用として[illegible]月も賞むる箱入として賣出したるが何れも[illegible]供衆の喝采を博し今や中元用としてホーカー液ホーカース丼トの賣行頗る盛旺なる由

●臺所の科學的研究　七月號の『婦人世界』には村井弦齋氏が食道樂以來の筆を揮つて起草せる『臺所の科學的研究』を掲げたるが當今此人ならでは到底のできぬ穿いところに手の屆ける書きぶり女學校でも敎へぬ新知識をよくも斯くまで面白く書きこなしたものと感服せり又加藤男爵夫人、田中博士夫人、鳩山夫人等が子女の躾方を書したる苦心の實驗談を掲載せるが何れも子を持つ母親の好讀物と謂ふべし其他一粒選りの家庭向き實用的記事を滿載せり一冊十七錢郵税一錢五厘當地の書店にあり

●桃谷研究試驗部新館成る　各宮家御用品白粉として有名なる美顔白粉の創製元桃谷研究試驗部は、大正二年の創立なるが爾來各種化粧品の研究を進むるに從ひ、從來の建物にては狹隘を感じ、先般來宏大なる新館の建築中なりしが、此程落成したるを以て今後はいよ／＼大規模に各種化粧品の研究に從事すべしと、因に同所主任藥學士桃谷幹次郎氏は東大の出身にして準舉に顯し恩賜の時計を拜受せる新進の學士なりと

七月三日九星
舊六月四日　辛丑
本命八白　艮　危　先負

▲八白　[illegible]　▲九紫　[illegible]　▲一白　[illegible]　▲二黒　[illegible]　▲三碧　[illegible]　▲四緑　[illegible]　▲五黄　[illegible]　▲六白　[illegible]　▲七赤　[illegible]

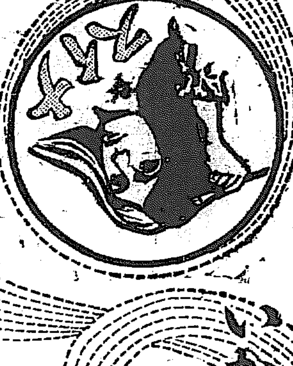
◎見切書籍　三割引廣告◎

- 日本家政學會發行　前大平記
- 米國ウインスロー、テイラー原著　譯者星野行則氏　學理的事業的管理法
- 木村鷹太郎著　在五中將業平秘史
- 須藤光暉著　法然上人
- 小杉天外著　長者星
- 饗庭篁邨著　雀躍
- 高濱清著　俳諧師
- ▲國民叢書　德富猪一郎著
  - 天然と人
  - 風雲漫録
  - 家庭小訓
  - 經世小策　卷上
  - 經世小策　卷下
  - 寸鐵集
  - 文學漫筆
  - 漫興雜記
  - 世間と人間
  - 社會と人物
  - 生活と處生
  - 處世小訓
  - 人物偶評
  - 教育小言
  - 近時政局史論
  - 讀書餘録
  - 第二天然と人
  - 第三天然と人
  - 日曜講壇
  - 第二第三日曜講壇
  - 進歩と退歩
  - 青年と教育
  - 人物管見
  - 文學斷片

發賣所　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

●使用心地　●壯快ヨシ
衣は青年男女必要品　恐るべき花柳病豫防具
サック　界一等品密送料共　甲十二個一圓　乙八十錢　特約店募集　東京西大久保武參荒龍堂

見よ!!
ナイス嬢の宙返りは



いかなる　ちゞらが赤毛でも
タッタ二十分で艶々と
美しく自然の黒髪となる
洗て剝げず永く保ち、用法至極簡易也

價　大瓶七十錢　小瓶四十錢　男子用卅錢

發賣元　丹平商會
大阪　東京

安東大連天津航路

每月六回
天潮丸（一、三〇〇噸）
濟通丸（一、一〇〇噸）

奉天經由に比し費用と時間に非常の利便あり

運賃
安東大連間　一等金五拾圓　三等金五圓
安東天津間　一等金貳拾五圓　三等金拾圓五拾錢

大連市　大連汽船株式會社
出張所　安東縣財神廟街　天津獨逸租界

●マラリアに一番ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
●ニセモノアリ御注意●
本舗　龍山　林藥房
京城本町一丁目　代理店　山岸天祐堂

遊漁船御案内
釣道具　御小賣
仁川海岸町三丁目角
芹川漁具店　電話七五四番

本院　京城支那領事館前　電話一五四一番
分院　龍山鶴壽温泉　電話一一一番
診察　京城午後自一時至六時　龍山午前自八時至十二時
中村耳鼻咽喉科醫院

大阪市西區新町通二丁目
本家　田知本和三郎謹製
振替大阪二八一八番
各藥店に販賣す

藥學上最良の次亞燐服用の事
メキ／＼肥つて強壯となる
▲次亞燐は人體の營養、發育、精力增進に缺き難き滋養成分より成る
●貧血多病者●産後病後●老衰疲勞に適應
次亞燐定價　●大瓶貳圓也　●中瓶壹圓參拾錢　●小瓶八拾錢
▲全國藥店にあり

營業目録

ヘツ

罐詰　乾物　海産物　雜穀　洗濯石鹸
漆器　家具　文具、紙　綿、農具　シヨベル　金物
陶器　磁器　簾　芦屛風　花莚
荒物　履物　澤庵、茶　昆布　鰹節　酒、石油
乳母車　雨傘　東京簞笥　碁盤　蠅取紙

仁川新町　津田兄弟屋本店　電話七六二番　振替京城三八九番
仁川宮町　津田兄弟屋支店
京城本町　津田兄弟屋支店

（年中無休）（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）
京城日報
第三版
二日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

京城論壇

朝鮮古美術觀

李王職次官 小宮三保松

朝鮮古美術の一般的性質を論ずるときは、矢張り支那美術の系統に屬し、若くは佛教美術の血脈を承けてゐる。從つて日本の美術に對しては極めて密接の關係を有つ。換言すれば我奈良朝以前の藝術は其範を朝鮮に採つた所が多いといふことが出來るだらう。即ち奈良朝以後平安朝に入つてからは、隋、唐、若くは唐、宋と直接交通を開いたが、其以前に於ては、專ら朝鮮と交通してゐたので自然に其藝術を輸入したのであつた。此の意味に於て朝鮮は日本本土に比して美術の先進國であるといふ事が出來る。

却說朝鮮の藝術中、今日考據として其の眞價を伺ひ得らるゝは、三國時代──其の中期以後のもの──に始まるのである。三國時代の藝術品中最も多く保存されてゐるのは新羅であつて、高句麗は百濟と共に之に先つて滅亡した爲め、此の兩國の藝術品は今日では餘程少く、吾々が見ることは頗る困難である。高句麗の藝術として認む可き什器は極めて稀であるが、併し高句麗に在つては世人の周く知れる如く古墳が發見せられ墳墓の樣式と所謂壁畫なるものを見て當時の繪畫が大凡如何なるものであるかを窺ひ得ると同時に、之に依つて當時の風俗が大體如何なるものであつたかを察することが出來るのである。抑も此の高句麗の墳墓の發見は朝鮮の藝術上極めて貴重な發見であつて、李王家の博物館は之れに就いては第一著の投資者である。即ち關野博士の此方面に於ける第一次の調査を助けたのは實に李王家の博物館であるが、本館は又過般其の後追次發見された墳墓の壁畫を圖錄とし之を出版して學界に貢献してゐる次第である。

高句麗の美術工藝は壁畫を主とし其の他には取り立てゝ見る可きものは無いが、百濟の工藝品に至つては自分は今日尠からず保存されてゐる事と考へてゐる。然し何分にも新羅物と混交してゐる爲め其れを區別する事が甚だ困難であると想像する。佛像其の他の工藝品に就いて吾々が通常新羅物といつて居るものは中には必ず百濟の物があらうけれども、之れを區分することは至難の業である。兩國とも南方に位置し而かも互に其境を接してゐた處から考へると、自分は双方とも殆んど同一形式の物であらうと思つてゐる。而して今日百濟物が新たに發見されるとは極めて稀で墳墓や王陵にも著しい物件は見出す事が出來ぬ。道は一千二百年前の昔に於て唐兵が新羅兵と共に百濟を滅亡した際。唐兵等は爭うて百濟人の墳墓を發き其の埋藏品を竊取した爲めであつて、今日容易に目星いもの丶發見されぬは怪しむに足らぬ次第である。然るに百濟は本土と甚だ密接の關係があつた所から其の工藝品は率ろ本土により多く現存し、若くは百濟の藝術家に依つて製作されたものが多數に保存せられてゐる。現在保存問題に付いて喧しくいはれてゐる大和法隆寺の壁畫の如きは、百濟人の筆に成つたものだと傳へらるゝ位である。

三國時代の後は例の新羅統一時代であつて之は二百餘年間續いてゐた。處で三國時代に於ては朝鮮の藝術は何れも支那六朝式に則つてゐる例が歷々として見らるゝのであるが、新羅統一時代に至つてはまた明に盛唐の文物を模倣した跡が窺はれるのである。或は工人が支那に學むだ事があるかも知れぬ。又は唐の工人が新羅に渡つて製作に從事した事もあるだらう。其の當時支那と朝鮮との關係は吾々の想像以上に密接であつて恰も往時印度と南洋の海路往復が非常に盛で有つた如く、彼我の交通頻繁を極めたことは、高麗に支那の鏡、陶器などが盛んに輸入された事に依り、又は高麗圖經等の記載に依つても窺はれるのであるが、尚ほ晉の王羲之が蘭亭に曲水の宴を張つた時、恰度高麗の使者が來たので之れを席末に列せしめたといふ史記に徴するも思ひ半に過ぎるものがある。其處で新羅統一時代は勿論、三國時代に於て支那との交通は既に頻繁を極め、佛教美術が支那に輸入されると幾何もなくして又之れを朝鮮に輸入した事を想像する事が出來る。并して百濟の如きは新に支那より輸入したものは幾何もなく更に復た之を我本土に輸出した事を以て想像されるのであつて、[illegible]其れが朝鮮に輸入されて以來、大なる時の隔りは無かつた事が明である。

そは兎に角、新羅の美術を代表し、而かも世界に誇るに足る可きものは彼の石窟庵に於ける半肉刻りの石佛である。此佛像の如きは、前述の次第であるから當に新羅の美術を代表するのみに止まらず、實に隋唐若くは盛唐の藝術を不朽に傳へるものと謂つて差し支へはない。新羅時代の藝術品としては先づ佛像、梵鐘、及び佛塔の類であるが、吾々は此他に尚ほ新羅燒てふ陶器を而かも多數に見る事が出來る。併し此の陶器は概ね素燒であつて藝術品としては左して價値の無いものが多く、極稀れには釉藥を施したものを見受ける事もあるが自分は之に對して次の疑問がある。此の素燒のものは或は特に副葬品として製つたものが多くはないだらうか、即ち常用の器具としては釉藥ものが多かつたのではないであらうか。新羅人は決して釉藥を知らなかつたのでは無い、否裝飾品とも目す可きもの丶中には往々にして最良最美の釉藥を施した優品を發見する事がある。此釉藥を施した物には同時代以前の支那窯に於ては到底見る事の出來ぬ立派なものがあり、又た種類を異にした純金製の裝飾物などにも非常に美麗なものがある。开して前にいつた素燒物の意匠、若くは屋瓦の意匠等には實に精巧にして且つ高尚なものがあるが、就中屋瓦の贅澤さ加減に至つては遠く本土の及ぶ所でない。若し新羅の藝術品にして恰も我國の古物が保存された如く、よく今日まで保存されて居たならば其藝術品には定めて見る可きものが多かつたであらうと考へられる。

高麗時代に入つては今より一千年以後李朝からいへば前朝の事であるから、物も比較的多數に傳はり、世人も亦汎く知つてゐる所である。例へば家屋の建築法、各種の器物、佛像美術、其他一般藝術の樣式類の如きも吾々は比較的之れを審にする事が出來る。其の内高麗の建築に就いては現に一つの標本が保存されてゐる其れは李王家博物館の一部となつてゐる明政殿及び其の附屬の建物である。京城内の宮殿は文祿の役前後に於て概ね灰燼に歸したのであつたが、右の明政殿は[illegible]高麗朝の建築である事は宮闕誌に明記する所である但し重修は加へられてゐるが先づ我が法隆寺の建物と同視すれば間違ひは無いであらう。何分朝鮮は古來兵燹其他の災害多しかつた爲め、眞に高麗朝の建築物と認む可きものは此の明政殿以外には殆んど無い。世には此の明政殿に付いて疑議を挾むものがあるかも知れぬが、自分は宮闕史の記載に付いて毫も疑を容れる餘地は無いと信じてゐる。此明政殿を觀るものは東面して建てゝあることに注意せねばならぬ。蓋し之れが李朝に成つたものとすれば、宮殿而かも一の正殿として建てられたものは必ず南面してゐなくてはならぬ理窟であるが、之と違つて東面してゐる所を見れば、此の明政殿は高麗時代南京に於ける一寺院の建物であつたのを、李朝の初期に於て宮殿に充用したと斷ずるが適當であると思ふ。譚は岐路に入るけれども、往昔の宮殿が寺院と其の形式を一にしたとは我が紫宸殿の建築に徴しても明かな所である。自分は支那、六朝以後の堂々たる宮殿の形式は、其の起源を佛教建築に發したものであることを信ずるものである。漢、魏以前の支那宮殿なるもの[illegible]は其の種類を異にし[illegible]のである。高麗の佛像、佛器、其他美術品と目す可きものに關しては世人にも比較的知られ

金剛山寫生 平福百穗

楡岾寺に著いて内外金剛の探勝を了つた、庫裡の外に囁く寬の水に足を洗つて溫突に身を橫へた。悲愿何日夢は猶崢嶸の間を繞てゐる（了）

であつて、之れを公平に觀察する時は高麗青磁は其れよりも更に精美であり、殊に高麗象眼青磁の如きは遙かに精巧にして美麗なものである。唯だ交通の關係上支那青磁は本土に多數輸入されたに反し、高麗の象眼青磁は殆んど輸入されなかつた爲め本土人は餘り之れを識らず、從つて尊重する由もなかつたのであるが若しも今日支那窯の礎手青磁と、高麗の象眼青磁とが新作品として共進會等に出品せられたとせば、第一等に受賞す可きは高麗青磁であつて支那青磁は二等以下に落つる事は疑ひのない所であらう。東山義政以來、藝術品を愛玩する本土の人は、假令資力はあつても博覧、若くは鑑識に乏しく眼界極めて狹かつた、從て高麗燒が多數世人に紹介された今日の時代に於ても、尚ほ此の高麗燒が相當の評價を得る事の出來ぬは實に遺憾に堪へぬ所である。併し今日以後に於ては世人の眼界も必ず擴大し、漸次高麗燒が公平な評價を博する時期に到達する事であらう。

高麗燒の評價に就いては自分一已の私言でなく、現代陶工の權威者たる諏訪蘇山（最も礎手青磁の製作に妙を極め、其作品は支那窯礎手青磁と何等の相違なく、斯道の玄人と雖も兩者の鑑別に苦しむ程の名工である）の如きも亦同一論者であつて高麗青磁を以て最精最美のものとし、支那礎手青磁は到底之に及ばぬ事を主張してゐる。過般東都で以て伊達伯爵家の收藏に係る古美術品の放賣があり、專ら世人の話題となつてゐるが、伯爵家の家寶たる重器を放賣すべく之れを提議したのは實に故富田鐵之助君ださうである。富田君は今日の所謂古美術品、殊に抹茶器類に至つては將來永く現下の如き高價を維持する事は頗る疑問であり、且つ之が保存にも相當の費用を要することであるから、此の期に於て寧ろ家の寶物を放賣し、其の獲る所を以て子弟の教育其他有益の費に投ず可しとの意見であつた。即ち富田君も亦今日我國に於ける所謂古美術品の評價なるものは、頗る信用し難く結局因襲若くは歷史的のものに過ぎぬことを看破したのである。之れを要するに高麗燒は青磁手其の他の種類と共に古今東西に渉つて實に陶器界の王であつて、西洋人の言を藉りていへば高麗燒きは全く陶器中の眞珠なりと謂ふ可しである。

高麗陶器のコレクションとしては現李王家の博物館に過ぎたるものはないのであるから、世人は之れに就いて研究の便利を得られむことを希望する。又た李朝の陶器は他の藝術と同樣大に退歩し、遂に滅亡に歸したのであるが、獨り三島と稱する燒物の一種は李朝の中期以後に至つても猶ほ見る可きものを製出した事は注意す可き現象である。我本土で以て珍重し各種の名稱を附する所謂高麗陶器なるものは其實高麗時代の製作物ではなくて悉く李朝ものである。從て陶器としての價値は極めて貧弱なものであるが、之れも亦習慣的に世人、殊に抹茶人から多大の賞讃を受けてゐるは公知の事實である。近年吾々は高麗時代の工人が其の最精最美の陶器を[illegible]道康津郡で發見した。之れは高麗陶器の復興を計る上から非常に重要な發見であつて、吾々は其れに依つて其の調査研究を重ね、現に之れが再興に努力しつゝある次第である。

城壁文學

小田省吾

（第四）漢陽都城の造築（中）

即ち延日數七十三日間に十九萬七千四百七十人の夫役を使役したのであるが、是れで先づ大體が出來上つたので、殘る限なく成就したのではないらしい。現に東大門の甕城（栱形）は翌六年に、南大門は其の又翌七年に落成して居る『斯く二回に實行したのは何故であるかと云へば、百姓の農事を慮つたのであるが、生憎此の秋は禾穀實らず、第二回の役を起す時に頗る異論があつた。併し太祖は遂に之を敢行したのである。太祖の二年には既に陳べた通り雞龍山新都の役あり。次で其の經營を中止するや、三年には各道の壯丁を發して開城の都城を築き、四年には新都の宮闕を造り、五年には又漢陽の都城を築いたのであるから、如何に連年民を役することの多かつたかゞ解る由て壯丁は百方其の役を免れんことを計つた爲め、三年の折に凡て家ある者皆壯丁を出し、大戶は二名、中戶は一名、小戶は三戶に一名と定めたことがある。されば五年の時も粗此位の標準で壯丁を徵發したしのであらうと推測する。試みに之を此の工役に參加した郡縣數約二百に平均して見ると一郡縣毎に、第一回は五百九十餘人、第二回は三百九十餘人の夫役を出したこと丶なる。

こゝで不思議なのは畿湖即ち京畿道忠淸道が夫役を課せられて居らぬ事である。其の理由は確實には申されぬが、畿湖の民は前年宮闕造營の時に使役され又は賦課される事が多かつた爲め、今回は免せられたものでもあらうが後考を待つ。

（三）都城築造及工事監督の方法

如何に多數の丁夫を使役したとはいへ、斯かる大都城を僅々七十餘日間に成就したのは實に驚くべき事である。殊に第一回は極寒の季節であるから、工事の困難思ひ遣られる次第である。依て文獻並に城壁文字の助により、知れる限り築造の方法を陳べようと思ふ。願はくは土木工事專門家に於て果して是れで出來得るものかどうかを判斷せられたいものである。

偖先づ都城の基地を丈量した時に、其の全長が約五萬九千五百尺（尺度のことは後に述べる）あつたのでそれを九十七工區に區分し、各區の長さを六百尺と定め、一區每に千字文によりて字號を附し、白岳の東より始め天地玄黃の天字號より起り京城を一周し、再び白岳の西に來りて終り、弔民伐罪の弔字號に止むとした。

又各工區を六號に分ち、二工區每に左の監役即ち工事監督の役人を置いた。

判事、副判事各一員　使、副使、判官中十二員。

次に各道州郡民戶の多少を計つて左の通り受持を定めた。

自天字至日字（九字）	東北面（咸鏡及南）
自月字至寒字（八字）	江原道
自來字至珍字（四十一字）	慶尚道
自李字至鹹字（十五字）	全羅道
自河字至吊字（二十四字）	西北面（安州以南）

以上は實錄に載せたる所であるが、果して實際此の通りにやつたものであるか否か、是れが即ち城壁文字の致ふる所である。

余が實地に調査したところに依ると太祖期の城壁は今日は誠に少くて、先づ北方では城壁の起點たる白岳の背後より北廟の背後たる城北洞附近までの間に少しづゝ二三箇所存在し西の方では仁王山京畿道造林地の後で曲城に上る懸崖の下に少しばかり見るのみであるが、幸にも南方に於ては、南小門址の東側、南山商會近くに至るまでに約五町に亙る同期城壁の大連續があるのを發見し、又南小門址より南山國師堂の背後に至る間は後世修築の箇所少からざるも、此の方面一帶太祖期の石築であることを確めた。尚ほ斷續して漢陽公園附近までも其形跡を見出すことが出來る。此の内南小門址の東側南山商會近くに至るものの即ち京城城壁東南隅のものは、其の石組の雄大なる、他期の修築を交へず又破損の箇所少き點に於て、實に太祖期城壁の標本と云つてよい

北鮮吟行（二）

立花蜻洲

○警報
萬里圖們邊戍人。胡笳遠近易傷神。半宵聽警勒兵起。風雨滿江飛電頻。

○雄基山中所見
山逕欲窮便又通。蜂廻溪轉白頭東。忽看衆水從天落。屛障描成萬丈虹。
林郊兎藪狗豺蹊。撫父元來何少恩。別有山中存古道。野人攘奪即轅門。

○過[illegible]
三五馬牛過柳村。[illegible]一水遶柴門。[illegible]童謠起無他事。[illegible]

○朱乙溫泉
十里溪山春色生。羊腸一路[illegible]。疑羽化登仙去。行[illegible]。
雨霽青山入眼新。水流泪々石磷々。遊此地壽加百。[illegible]人。」

日報歌壇

□大禍　[illegible]

そと寄りて[illegible]の額子に頬ずりつ[illegible]冷たきを罪も愛する。
此日頃何故心落ちつかぬ[illegible]を得しとふのみにして。
何故に生を欲る身ぞこれと云ふ[illegible]念もなくひと日／＼を。
大禍の如き宇宙にいともろき[illegible]堪へずゆれてあるかな。

□夏やせ　[illegible]

一條の此の小蟻さへ堪へがかゝ[illegible]しとふ我が誇りの前に。
いとゞしくやつれて見ゆぬ[illegible]み我が若さをば妬みてあるや。

□白百合の花　[illegible]

湯の宿よさらば／＼と別れ來しかの岩かげの白百合の花。

□トヽトの花　[illegible]

人手をも借らで作りしトヽトーの花もつ頭となりにけるかな。
夕暮に古き廢都で笛を聞くその音がいかにも淋しかりしよ。

俳夜坐

第一回大正五、六、二二

汗

汗人に應對かろく薑荷かな　橙黄子
汗人に視まづある病間かな　同

蝙蝠

蝙蝠暮そゝくさと濯ぎ居る　北星
蝙蝠や汽車は未だ貨車溜り　同
雲の色褪めて露蚤や蚊喰鳥　容堂
蝙蝠や城門の影いつ消ゆし　同
較ずれを惱む女や蚊喰鳥　靑扇
蝙蝠や時なく埋れゐし墳墓　東村
僧籍をつゝむ身暗らし蚊喰鳥　橙黄子

草いきれ

憎み、も迎ふ客なら草いきれ　靑扇
草いきれ後ろに迫り來し擔架　橙黄子

藻の花

萍や燭特ちて立つ客送り　東村

□京城を後に

青い灯

あなさびし靑く木の實の愛ふときわれにとゝせのふるさとをさる
山行けば山はかなしも旅行かむみのわくごにもだしむかへる
何ものかふさうしろよりわが衿をとらふるがにも心落ちゐず
うなだれて野路をいゆけばたそがれの土のうれひの香のさびしまゆ
うなだれて野路かへりくる悲しさのまへに夕べの山ふさがれる
かなしさは宵の木肌に身をよせて遠縁のころ山をながむる
事もなく机によればさぶしまゆ思ひなべての音にさかるがに
かなしみは土の色してふるへをり遠旅ゆかむ人のこゝろに
庭じめりみゝずのなけばこれやこのわがかなしみは土にはひよる
かなしみのはてになきでしみゝずは路にしめりし土のかくろく
泥沼の吐息かなしくたそがれてねろきいきれのなかにわが立つ

◎日露新協約密約 支那を中心とせる兩國の攻守同盟

日露協約要項は大約既報の如くなるが本協約の存續年限は十年の規定にして密約の部分には支那を中心とする兩國の攻守同盟條項規定せられ日英露佛の兩同盟を尊重する關係上萬一干戈を動かすが如き場合には各同盟國の同意を得るを必要とするもの〻如し尚本協約と同時に解決せられたる兩國の懸案中松花江の航行問題及び東清鐵道の一部讓渡問題は多分少しく後れて發表せらるべく軍器の供給に關するものは勿論秘密なり(東京特電)

◎北京新内閣組織

北京來電に曰く段祺瑞氏は新内閣を組織せり多分二十日の官報を以て發表せらるべし其の顔觸左の如し(北京特電)

首相兼陸相 段祺瑞▲外相 唐紹儀▲海相 程璧光▲農相 宗長國▲法相 張維藻▲文相 姜雄儀▲遞相 汪大燮▲藏相 陳錦濤▲内相 許世遠

◎大總統申令發布 八月議會召集=總統選擧法有効

六月二十九日附を以つて大總統申令發布せられたり同令は八月二日を以て議會を召集し確乎たる憲法起草せられ之が通過を見る迄南京臨時約法(舊約法)も有效のものと認め且つ中華民國二年六月十日宣布の大總統選擧法は依然有效なりと爲すものなり段祺瑞氏は國務總理に再任せられ立法院及び國民會議に關する法律は悉く廢止せられ參政院肅政廳は撤廢せられたり(上海特電)

◎塹壕占領と激戰繼續

獨將レテンスキーの決死的抵抗あるにも拘らず露軍はドニエステール及びプルート兩河の間に於て敵軍に對し非常なる打撃を加へたり即ち塹壕三線を占領し多大の損害を蒙らしめ敵兵一萬五百六名を捕虜とし多數の機關砲及び其の他の砲門を鹵獲したりレヴォルヒニア方面に於けるストックホッドにて必死的戰鬪繼續中なり(露都電報)

◎英軍奏効

英軍總司令官ヘーグ將軍の公報に曰く最近二十四時間内に於て多數の我偵察隊及び突撃隊は英軍全戰線の諸地點に於て敵軍塹壕に突入し各部隊共其の目的を遂し敵軍に多大の損害を與へたり(倫敦電報)

◎東清鐵道修費

東清鐵道讓渡受此れが改修費は軌條費五十餘萬圓及び工事費二十萬圓を要す可しと(東京電報)

◎六月下旬貿易

輸出一割七分の増加

大藏省の調査に係る六月下旬の外國貿易は輸出は生絲を始め屑絲、綿絲、羽二重其大小等の増加により一割七分を増加し輸入は羊毛、豆類、油糟、鐵類機械類の増加に依り七分を増加し結局八百六十五萬四千圓の輸出超過を示し一月以降の累計は實に二萬八千八百二十三萬二千圓の巨額に達せり(東京特電)

◎造機部長任免

一日左の如く辭令ありたり(東京特電)

横須賀海軍工廠造機部長 海軍機關少將 入澤敏雄
●免本職待命被仰付
呉海軍工廠造機部長 海軍機關少將 山田英之助
●免本職補横須賀海軍工廠造機部長

◎海軍佐尉官異動

一日海軍大佐飯田延太郎以下多數の佐尉官同相當官の異動發表ありたり(東京特電)

◎同志大藏部會

同志會にては一日午後三時より本部にて政務調査會(大藏)を開き金融機關の件外四件を附議せり

◎濟生會會議

内務省にては一日より四日間同省會議室に於て北海道長官を始め各府縣に於ける恩賜財團濟生會の救療及び會計事務主任會議を開けり(東京電報)

◎總督東上

寺内總督は森、高橋兩武官、池邊秘書官等を隨へ、總督邸晩餐會散會後一日八時五十五分官邸出門、南大門驛發特別汽車にて出發東上の途に就けり、同驛には昌德、德壽兩宮御名代をはじめ、中樞院主要職員及び貴族、山縣政務總監、井口軍司令官、立花師團長、總督府内各部長官、所屬官署の長、局長、課長、高等官、吉原東拓、勝田鮮銀兩總裁、各理事民間有志等二百餘名の見送りあり、總督は一同に對し、東上の挨拶ありたる後直ちに上京の途に就きたり

◎公立學校規則の改正に就て

學務課長 弓削幸太郎氏談

一日の官報を以て發布されたる公立學校規則中改正の件は昨紙夕刊所報の通りなるが、之れに就き弓削學務課長の談に曰く、朝鮮に於ける内地人子弟の初等教育機關は年を追うて完備の域に達し、併合當時に於ては小學校數十三道を通じて僅に百餘校に過ぎざりしも、其後年々二十校乃至五十校内外の増設を見、現今に於ては既に三百十餘校を數ふるに至れり、即ち平安南北道、江原道、咸鏡南北道に於ける僻陬地を除くの外、郡廳所在地には大抵小學校の設けあらざるなく、郡廳所在地以外に於ても内地人約二十戸以上集團せる地方には何れも小學校を設置して子弟の教育上遺憾なきを期し、現に南鮮地方に於ては、一郡内數校を設置せり然るに猶ほ内地人の集團せる僻陬地に入りて特種の事業に從事し、又は官命に依りて

▲僻取地に在勤せる教官、教員、其の他官公吏の子弟にして當該地方に小學校の設けなき爲め教育を受けしむること能はざるもの十三道中約一千人の多きに達せり、依つて是等の子弟の爲め大正元年度に於て初めて京城及び平壤に兒童寄宿舍を設け、爾來義州、群山、木浦、會寧、元山、羅南、烈德、全州等に之を増設し、以て教育上の缺陷を補はむことを期せしも、兒童寄宿舍に其の子弟を托するには食費、學費、學用品費等に相當の費用を要するのみならず、幼年の子弟を遠隔の地に送りて其の世話を他人に托するは父兄の頗る苦痛とする所なるを以て、尚ほ各地方に不就學兒童を見ること尠からず、然るに公立普通學校所在地に於ては從來之等兒童を便宜其の學校に收容し、當該學校長が公務の餘暇を以て之に相當の教育を施し、又は鮮人兒童と共學せしめつ〻あるものあり、又當該地方居住者中多少初等教育の經驗を有する者ある場合は

▲其の子弟教育を之に托するあり、而して官公吏の如きは家庭に於て自ら其の子弟に讀書、算術、習字等を授くるものあり、斯の如く小學校以外に於て相當の教育を受けたる者が小學校所在地に轉住したるときは從來其の學力と年齡とに應じ試驗の上相當の學年に編入するもの無きにあらざりしも法規上何等依る可きものなく、又た其の兒童が從來何程の教育を受けたるか不明なる爲め學力の檢定上にも支障少なからざりき是れ今回朝鮮公立小學校規則中一部の改正を施し第十條の二の次に

第十條ノ三 學校長ハ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メタル者ニ對シ父兄又ハ之ニ代ハルベキ者ノ請求ニ依リ試驗ノ上相當學年ノ修了又ハ全科卒業ノシタル者ト同等ノ學力ヲ有スルコトヲ證明スルコトヲ得

を加へ發布の日より之を施行すること〻し、以て是等の子弟に對する取扱方を定められたる所以なり、小學校及び普通學校教員諸君は能く此旨趣を體して措置宜しきを制し、本

◎朝鮮醫政の現狀

總督府醫院長 芳賀博士談

朝鮮に於ける醫事衛生が最近長足の進歩を爲し來れるは何人と雖も首肯する所なるべし就中此日新の醫術に依りて救濟されつ〻ある鮮人の享くる幸福は想像以上なり從來鮮人の疾病は漢法醫の所謂草根木皮の使用により治療されて居たる者なるも吾最新の醫術に依て積年の難症を癒する者多く從つて日新の醫術を信用するに至れり、然れども中には漢法に非ざれば醫術にあらざるが如く思惟する者なきにしもあらざれど、内科的治療は其結果直ちに外部に顯れざるも其の外科的治療或は皮膚病等の治療に至りては其成績直ちに外部に現る〻を以て漢法醫論者も此新醫術の効果を見て驚嘆せざるものなきの有樣なり

▲地方は巡回診療 如斯なれば數年前迄道慈惠醫院の鮮人患者は大部分施療病者を以て占め居たれども近來是等施療患者の數を増すのみならず中には斯くも難有き治療を無料にて受くるに忍びずとて若干の醫療費を納入するものあるに至りたるは正に是れ聖代の恩澤と云はずして何ぞや道慈惠醫院は其所在地に於て患者を診斷治療する外時に或は各地に巡廻診療班を特派して遠隔の地にある疾病者を診斷投藥せしめつ〻あり此巡回診療は一地方に駐在する期間極めて短時日なれば更に其地方に置きある

▲三百餘名の公醫と稱する嘱託醫ありて之に治療を托し遂に全治せしめんとするの方法を取り居れり、公醫は大部分内地人にして内地人醫師の開業者なきため内地人も亦是等鮮人醫師を信用して診斷投藥を受くる者ある等全道到る處醫術の普及せざるなき迄に發達したり、公醫制度は内地に於て未だ設けられざる所の施設にして鮮人は勿論識者を得て地方に居住する内地人の大に意を強するに足るものあるべし將來更に公醫の數を増加して地方醫術の普及を圖らば一層の効果あるに至るべし

◎中日銀行と鮮銀

目下何等の關渉なし

奉天に新設の噂ある中日銀行に就き朝鮮銀行頭取の吉田東京支店長が井上正金銀行頭取と成立機運促進の爲め各般の打合はせを行なひつ〻あるやう報ずるものあり右に付消息通の談を聞くに東京方面よりの情報を視るに奉天に設けられんとする中日銀行の内容は商業銀行なるか不動産銀行なるか但しは又不動産銀行にて普通銀行を兼營せんとするものなるか其の正體確然たらず從つて朝鮮銀行が其の設立に盡力しつ〻あり云々の説の如きは跡方もなき妄説に過ぎず元來奉天の新設銀行計畫は前期議會に政府より提案せし滿洲日支銀行法案が上院にて握り潰されし爲め滿洲銀行設立の急を叫び又同方面の金融界に特殊の注意を拂ひつ〻ある有志の間に日支合辦の中日銀行を成立せしめては如何との議渉き其等の人々が相當研究し又提撕しつ〻あるに過ぎざる如く其の成否さへ未だ俄に知り難し唯鮮銀は既に夙に滿洲に進出し營業の手を擴め居れるに付中日銀行の計畫者等が將來鮮銀の意見を聞き又賛同を交渉し來る如き事は絶無に非ざるべきも目下の所鮮銀は何等關渉する所なしと

◎蠶繭運賃遞減

本月五日より實施

蠶業が朝鮮に於ける産業中次第に重きを加へつ〻あるとは注目に値ひすべく其筋にても之が發達を希望し相當の便宜を計り居れる程なるが其産額に於ても漸次多きを爲し最近六箇年間の産額に見るも正に四倍半の激增を示し居れり即ち

明治四十三年	一三、九三二石
同 四十四年	二〇、二一一石
大正元年	二九、四〇〇石
大正二年	三六、八七一石
大正三年	四六、一九四石
大正四年	五九、一五六石

然して是等多額の繭は收穫期に際し地方より輸送せらる〻狀況は激忙を極むる爲め最近鐵道局にては各線驛長に對し輸送せらる〻場合萬一積み殘し汽車積みせらる〻もの〻無き樣多忙の折りには郵便局所長に具申して所局員の増派を爲す樣命じたる程なるが更に來る五日より左の如く鐵道輸送賃金の遞減を爲すこと〻なり尚之を院線連帶の貨物制にも通用する事となれり

生繭規定賃金の五割引▲乾繭同二割引▲繭用袋同五割引▲繭用籠は從來割增賃金を徴收せしが之を撤廢する事

◎京城電氣決算

京城電氣株式會社にては六月三十日を以て本年上半期の決算を締切りたるが右は油幕騰貴等の爲め電氣點燈者多く成績頗る良好總收入概算六十三萬圓に上り居れり尚ほ定期株主總會は來る七月廿九日東京麹町區有樂町生命保險協會に於て開催さるべく配當率は未だ決定し居らざるも或は増配すべき模樣なり尚ほ來る八日頃平澤監査役來京決算檢査を行ふ豫定なりと

◎私立模範林の經營

京畿道抱川郡佛舞山に於て今回山根中將の計畫せる模範林は第一期分として七百町歩の植樹を爲す筈にて此程一町歩の苗圃を設けたるが其目的は地元農民の植林思想開發にありと

◎平南漁業近況

平安南道に於ける漁業許可者現在は内鮮人を通じ七十二名にして漁場は大同江々口及び清川江々口及び近時開拓したる平原郡漢川浦沖合等最も盛にして目下捕獲魚の最多なるものは鯛、鰆、鯖、鰈、鰻、スヾキ、ヒラ、イカ、ニベ、アヂ、フカ、グチ、メバル等にして昨年六月中の魚獲高は一萬九千九百五十七貫價格一萬二千四百十一圓なりしと

◎咸永間道路工事

紀要の關係上道廳に於て一時起工を中止したる咸永間國道の黑鉛嶺開鑿工事の一部は最近に至り愈々工事に着手するに決定したるが定平附近國道筋の改修と共に竣工の曉は咸興永興間に於ける交通機關の面目を改むると同時に旅行者の享くる便宜甚大なるべきを疑はず

◎廣梁製鹽近況

平安南道廣梁灣天日鹽採取は近來天候順調なる爲め鹽田の結晶良好にして一日平均百萬斤以上の結晶を見六月一日より同二十二日迄の累計三千萬斤に達し昨年同月に比し殆ど倍額の採取を見るに至れり

◎長安寺と電信電話

七月一日より江原道金剛山長安寺内に淮陽郵便局長安寺分室を設置し電信電話事務を取扱ふ事となりたり

◎藤川税務課長歸期

東上中の藤川税務課長は六月末歸任の筈なりしも打合事務未了の爲め七月中旬に延引せりと

人事消息

▲松本正寛氏(醫護士) 一日夜木浦より歸京
▲永野清氏(警視) 一日朝木浦より歸京
▲加護谷祐太郎氏(工學士) 一日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

舊約復活の命令が出る國會が北京で開會されると支那では此の處大汗になつて諸準備に忙しいらしい▲内務部では已に國會事務局を再興し兩院議長に請うて秘書廳を設ける▲大抵七月中旬以前には上海議員團をも北京に迎へる事が出來やう▲爾うすると法定人數に達するから待ち兼ねた國會も正々堂々開會されると樂で居るかと思ふと▲張勳將軍は時とすると武斷主義を主張して舊約法復活には同意だが國會の開會には贊成しない▲殊に目下上海議員團が政府所在地外の上海に自ら召集を行ふなんて怪しからんと激烈に反對し▲馮將軍や山東の張將軍等と聯合して鼻息の荒い處を各地に打電して居ると云ふ▲驚いたのは北京政府で之れぢや折角の南北統一も何うか判らぬと大心配で徐世昌に慰撫を頼んだらしい▲其の中に廣東なぞはパチ／＼やる妙に突つ張り合ふ誹りで扨て霖雨明けは何うかと見ると矢ツ張り天氣は惡い樣だ▲林男が愈々支那公使になるらしいが男の支那公使は年來の宿望が達せられた樣にも見ゆる▲故山座圓次郎氏が伊集院氏に代つて支那公使と内定した事を聞いた當時の駐伊大使の林男は直に山座氏と直接談判を開いた▲一體君は未だ前途のある男だ暫らく伊國大使になつて今後の活動資金を拵へ其から大々的活動をすることにしたら何うだ▲俺は多少活動資金を持て居るから此場合俺に支那公使を讓れ▲其樣な事が出來るものかと山座氏は林男の談判をはね付て赴任した▲と云ふ獄もある今回男の新任こそ大に見物だ其の活動振りが待ち遠しい樣な氣もする▲朝鮮とは格別の緣故ある林男だから尚ほ更ら其のお手並が早く拜見したいものだね

明治公債株式會社朝鮮支店
▲外務社員募集
京城府東拓會社前
電話一九〇八番(振替京城二五五〇番)

趣味の世界
七月號出來
◎夏の夜 ◎趣味に生きた國民 ◎現代の趣味をいかに觀るか ◎人生と趣味
▲影 ▲現代歌人 ▲朱す蘭 ▲投入花 ▲箏曲 ▲松風 ▲作法 ▲馳走 ▲盆栽 ▲詩 ▲なやみ ▲書 ▲雨夜 ▲軸花 ▲小督 ▲小説 ▲青
趣味之世界社

第二回 趣味の生花講義録
東京四谷須賀町

祝仁川支局發展
仁川各宗寺院
佛教聯合會

新日本
袁氏支那を弔して國民を警む!! 大隈伯爵
袁歿後の支那は如何に變化するか
歐洲戰後の資本戰爭 津村博士、服部ドクトル、柳生一義、米國商務局長プラッテ、松岡博士等
日支共同 武裝的産業論……永井柳太郎
タゴール詩聖と大隈老伯との會談……一記者
今日の世界 世界的新知識及最近思潮を萬人に紹介する本誌の獨特欄
英獨上海 爭霸戰の前途……佐藤海軍少將
平民的簡易避暑法 入澤、大澤、宮入三博士、石黑男爵等
學校教育に關する根本的謬想……河田京大教授
滅び行く論落の女 天民 ■戰爭成金傳 京北浪人
■小説 人魚の祠 ■史劇 裾野の古家
■告生の神田 孤劍 ■愛國婦人會の無能
七月號郵税共卅二錢 六冊分壹圓八拾六錢
東京神田 富山房

開城大和町(裁判所下)
辯護士 白井水城

日韓書房 新版報告
西田順一著 誰にでも出來る 電氣工學
村山龜齡著 平家詩史
八木静一郎著 織物製造法
諏訪末吉著 實際養蜂
加藤咄堂著 向上の意氣
京城本町二丁目 日韓書房

内科 小兒科 入院隨意
京城明治町(元善隣學校跡)
中島醫院
院長 中島貞信
電話三七八

……て門司水上署にて取調べ中なりし大……陽丸船員二十八名は取調べの結果却つて船長にも脅迫の事實あり不起訴理由を附して書類のみ檢事局に送り

……合に於ては取扱開始以來毎日三石以上宛の扱高を見るの盛況にて去る二十六日迄に於ける總計十五石餘を……

……等女學校は大正二年四月の開校にして同四年……月現今の校舎に移轉し今日に及ぶるが生徒の數は現在一百五……

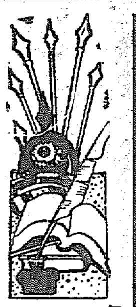
朝深呼吸……好結果を來し居れり又一面服裝を質素とし都會の惡習風に感染せしめず……

……山下萬作方に侵入し萬作及び長男官太郎を傷けて逃走したるも遂に其筋の手に捕はれ……

……郡山府松昌洞朴仁澤妻崔姓女（三三）及び……共謀の上昨年陰十月初旬頃郡山府……

●賣上金を淩ふ 京城鍾路六丁目炭屋鄭一男安道山（一七）は賣金……

□東上の途に上れる寺內總督 ……南大門驛にて……



獨逸魂 —2—
＝某將軍の談＝

◇獨逸人の總ての階級◇
◇に普遍した強い信念◇

回將軍は麥酒の杯を乾して語り續けた――某國の一留學生が相當の家柄の家に厄介になつてゐたが或時其男が自室で机に向つてる處へ其家の妻君が入つて來て後方から其男の頬に接吻した

回無論誰れも見てゐないと思つてしたのだ。處が隣室に通ずる鍵穴から此家の主人が其容子を見てゐたんだ怒る筈だ、主人は早速妻君を呼付けて『怪からぬ事では無いか、怎もお前の樣子が變だから俺は豫て氣を付けてゐたんだが今日も實は紳士としてあるまじき事とは思ひ乍ら鍵穴から見てゐたんだ。現在主人の有る妻の身として他人に接吻するなど云ふのは怪しからぬ事だ』と詰寄せるけれども妻君は何と云つても之を否認する其主人は博士だし妻君と云ふのは某高等官の娘だから立派な家庭なのだ

回主人の博士が何と言つても妻君は之を承認しないものだから『お前がそんなに否認するなら事實で無かつたと云ふ事を神に誓ひなさい』と云ふ事になつた。處が妻君は『そんな莫迦な事が誓つたりなどされるものですか』と如何に語を替へて説いても誓はうとしない。

回主人も仕方が無いものだから今度は其對手の某國人の方に向つて來た併し其男にした處が確に接吻したとは言やしない何とか救濟して貰ひ度いと云ふので近所に下宿して懇意にしてゐた我輩を呼びに寄越したのだが早速驅けつけて容子を聞けば右の始末だ。

回二人共主人の言を斷じて否認してゐるものだから門外漢の我輩には何とも判斷がつかない。で妻君に向つて『貴女が其樣に此事實を否認なさるのなら是れ程に強く疑つてゐられる御主人の疑念を解く爲に唯一言さうでないと云ふ事をお誓ひになつたら如何です、さうでないと御主人の疑念は益々深くなる許りではありませぬか』と色々に話すけど妻君は『そんな莫迦な事が』と頭から誓はうとしない

回我輩は何と云ふ頑固な女だらうと思つたね。然し妻君がどうしても誓を立てゝ否認しないものだから主人の怒は益々募つて對手の男に『貴君が飽迄之を否認しようとなさるなら某國の一紳士としてさうでないと云ふ事を誓つて下さい』と來た。誓ふと言ふ事が其麽に權威のあるものとは怎しても我輩等には思へない、けれども唯さうした形式に依つて此重大な疑念が晴れると云ふものだから友人は仕方なしに主人と握手して『某國の一紳士として事實のない事を誓ふ』とやつたものだ

回處が主人はさも心から釋然と疑を晴らした樣に悦し相な態度で『いや貴君が其れ程迄に否認される處を見ると怎も私の見誤りでした誠に怎も失禮な事をしました』と今迄の疑心暗鬼をサラリと捨てゝしまつて其間に更に殘されたものもない態度である

回這麽例はいくらもあつて之などは其內の一例に過ぎないが、此牢乎として拔くべからざる宗教心は獨逸人の總ての階級に普遍した強い信念なのであるそして獨逸魂の一素因を爲してゐる

●劒號の處女飛行
豫想以上の好成績を收む

岸醫學博士の新飛行機劒號は一日午前洲崎埋立地に於て處女飛行を試み豫想以上の好成績を收めたり該機は陸軍航空隊モ式複葉を型取り之に博士案考のV字形七十馬力の發動機を据付けたるものにして搭乘者は陸軍飛行練習生騎兵中尉井上武三郎氏なり滑走十米突にして飛翔し約四百米突の高さに昇り銀座方面より品川を經て洲崎埋立地に歸還したり該機は機體も發動機も全部日本製にして我が航空界に貢獻する所少なからざるべし（東京特電）

●被害全郡に亘る
▼慶北各地の交通杜絶

六月二十一日以來の豪雨にて慶北各地は甚大なる被害ありし事は既報の如くなるが其後道廳及び警務部は各地の水害狀況を調査中にて未だ確報に接せざれど是れを概觀するに被害は殆んど管內全部（二十三郡）に亙り浸水▲耕地約一萬町歩餘にて一反歩損害平均五圓と假算するも總額五十萬圓に達すべく又浸水家屋は約千七百餘戸而して道路の決潰破損せるもの一二三等線のみにても百餘箇所に上り橋梁墜落流失廿餘大邱安東線の如きは廿九日より漸く人馬の交通を始めたれど車馬交通は今の處全く不可能にして何時とも立たざる位なり▲復舊すべき見込み金泉尙州禮泉間は廿五日より人馬の交通をなし大邱慶州間は目下辛うじて車馬の通行をなし得るも大邱統營間の二等線中達城郡玄風附近洛東沿岸は路上浸水十尺餘に上り今や漸次減水しつゝありと雖も交通全く杜絶し郵便物の如きは間道を迂回しつゝあり是が損害約二十萬圓と觀測さるゝもなほ詳細の調査をなすに伴ひ意外の損害高を見るやも計り難し（大邱）

●新案電報詐欺
▽豪遊中逮捕せらる

全北咸平郡平面上米里牟壽潤は過般木浦に旅行不在中同人の長男牟成煥に宛て壽潤の名にて木浦南橋郵便所より二百圓の送金方を打電したる者あり成煥は之を實父よりの電報と信じ直に壽潤宛に二百圓を送金したるが其と同時に實父壽潤が歸宅したるより始めて詐欺に罹りたること判明し驚いて斯と同地分遣所に訴へ出でたり爾來其筋にては鋭意犯人搜査中の處此程に至り右は咸平生の牟永鉉の所爲なる事發覺し直に逮捕せり同人は賭博常習者として其筋の注意人物に屬し詐取したる二百圓を以て洋服靴を買ひ求め友人數名と共に櫻町日の出亭にて豪遊を試みたるため足が付きしものなりと（木浦）

●岩下清周公判
一日岩下清周等の公判を開廷し前專務小塚正一郎に事實の審問を爲せり（大阪特電）

●還暦祝に人殺し
開城北本町全天命（三八）は去月二十九日夜開城大和町趙學鳳方還暦宴に招かれ酒宴の最中趙學鳳の二男某は某客と喧嘩を始めたれば總立となりて之れを制止し居る中仲裁者の一人たる全天命は打ち仆れて絶息したるより一同喫驚して高麗病院に擔ぎ込みたるも既に絶息後なるため同病院にては之を受付けざりしより引返して……

●京龍荒しの賊
長崎縣南高來郡小濱村生れ住所不定前科一犯の松本秀雄（二）が大金あるもの如く裝ひ五月十五日黃金町二丁目飲食店德永某方の二階に押し上り同家の衣類六點（四十三圓）を竊取したるを手初め同月末迄に京龍各町にて二百餘圓を稼ぎ廻りたる事件は京城地方法院にて懲役一年六箇月の處分となりたり

……超方に寢かし置き其筋に急報し警官醫師出張檢屍をなし屍體は三十日宮崎囑託醫の執刀にて解剖に附したり犯人は目下嚴探中（開城）

●詐欺師
京畿道龍仁郡慕賢面吳山里生れの梁弼石（三）が本年一月中京城西部人力車夫李文敬より現金三十圓を騙取したるを手初めに外數名より百餘圓を騙取したる詐欺事件は京城地方法院にて懲役一年六箇月の處分となりたり

●航行中溺死
京畿道江華郡府內面甲串里稱夫高賢九（四）は六月二十七日午前三時頃同里附近を帆船にて航行中足を辷らして海中に墜落し行衞不明となりたるが未だ屍體を發見せず

●潜伏中
平南江西郡赤松面敷新里金宗道（三九）は同里金成斗（三九）の妻崔氏と姦通の疇ありしが六月二十三日の夜成斗方に忍び入り小刀を以て熟睡中の成斗に斬付け右肩に幅一寸二分深さ七分右腕に長さ五分深さ七分胸部に長さ二寸左肩に長さ三寸五分左股に三寸右手裏に三分の疵を負はせて逃走し行衞不明となりたるが甑山憲兵分遣所の憲兵嚴探の結果二十七日同郡星臺面元國里金利泰方に潜伏せるを發見して取押へ檢事局に送りたり

●失火罪
京畿道楊州郡芦海面中溪里崔正叔（六五）は六月五日夜火氣ある焚灰を自宅の便所に投棄したるため遂に發火し自宅並に隣家李鳳仁の二戸を全燒せしめたる失火罪は此程京城地方法院にて罰金十圓の處分となりたり

●電線泥の處刑
京城碉雲洞尹相琨（一）は六月十九日京城電氣會社の取付工夫が東亞煙草會社附近にて工事中電線用東京卷（五百尺）を竊取し偶他の工夫に追跡して龍山岡崎町にて取押へられたる事件は京城地方法院にて懲役四箇月の處分となる

●立原畫伯入京
南宗畫會幹事立原翠雲畫伯は過日入京天眞樓に滯在中なるが大阪に於て畫會を催ほす計畫にて其準備として近日出發金剛山寫生に赴くべしと

●大相撲前景氣
▼初日は十五日前後か
▼團體見物の申込續々

東京大相撲の京城興行も追々近づき來れるが明治町空地內に於ける角力場の設備も日々進捗し居り又三井物産、サクラビールその他より既に團體見物の申込みあり棧敷の五日間買切豫約等の申込み續々あり前景氣素晴しきばかりなるが當地の初日は天候順調にて十五日前後なるべく而して京城興行中の各力士の宿所割は左記の如く決定したり

▲天眞樓 出羽海、若常陸、御西山外五名 ▲山本旅館 西の海、宮木川外五名 ▲清光館 大錦、對馬洋、兩國、〃州川、小常陸、大の川、西海波、道錦、岩木山、駒泉、常の花、綾錦、鳳凰山、天醫洋、岩戸山外三十五名 ▲京金旅館 綾川、栃木山、宇都宮、紫雲龍、龍ケ崎、一徳、大門岩、男島、兒島洋、高千穗、碭稚、羽州山、阿武の松、關の戸外三十五名 ▲荒井旅館 源氏山、朝日山、山分外十五名 ▲日の丸旅館 式守錦太夫、木村左門、式守錦之助、式守與之助、式守與治郎、宮城山、玉柳外二十五名

□朝鮮に見ぬ渡世

◇◇◇◇◇

◆福溜から拾ひ出した樣な帽子を被り、繼ぎ剝ぎだらけ襤褸の出るのも平氣で、尻からげをして、人に物を言つたら損だと云ふ樣な面付きの男が、口からは五色、七色、十二色の彩かに美麗な瑠璃色の玉を大小幾つでも、心の儘に吐き出すと、宇宙の森羅萬象は、忽ち影を其の玉に宿して、天に昇ると見る間にパチリと消え失せる、仙人の樣な魔術師の樣な石鹸玉賣り――が居ない

◆硝子張りの小ぎれいな細長い箱を天秤棒で擔いで、主に何な新道とか何小路とか云ふ、夜になると御神燈に紅い灯のともる町を、午下りから夜にかけて、日に二度も廻りさへすれば寢酒の二三合位には必ずありつける、殊に雨の降る日などは却つて利益が多いと云ふみつ豆やさん、之がない

◆『至つて馬鹿氣た事ながら――エ……ポク〳〵……嬉しさ餘つて氣がのぼせ難有い御經をスッカラカンと忘れ、昨夜の飯は焦げ付いた、今朝の飯は勿體ない、おまけに箸と茶碗が隱れん坊、仕方がないから、杓子を持つて搔き廻はす……ポク〳〵…』

ポク〳〵と云ふのは何んだつて？木魚を叩く音さ、實際に至つて馬鹿氣た事ながら――此阿保陀羅經がない

◆化け物屋敷の樂隊が來たのかと思つて飛び出して見ると、之は又異樣ないでだち、深編笠の奴姿や、鳥追ひにしては馬鹿氣て華奢な身裝をした女、さては七ツ道具を背負うだ娘の辨慶などが月琴、尺八、ヴァイオリン、琴、三味線に柏子木などを唄に合はせて鳴らして歩き、二十錢もやれば劍舞でもカッポレでも何でもやると云ふホーカイ節――が來ない

◆支那では西遊記、日本ではおしゆん傳兵衞などで御馴染の、人間に毛の三本たりないと云ふお猿さんに赤い衣物を著せて脊中におんぶをし、親方の鞭一つで泣くまねもすれば、キヤッ〳〵と可笑しな笑ひ方もする猿廻し――之れがない（おはり）

巡業日記
錦西山祐藏

□宇都宮の四人拔

大錦の果樹園を觀る大錦に客くさ又も……

天下泰平五穀豐穰の……より……と鳴り渡り……夢を破つて今日一日で愈々千秋樂の二日目である。稽古は益々盛んである每日ブツツかつて毎日叩きつけられてゐる。而して七日も八日も休んで久し振り稽古するので稽古……

▼疲れ ……が出て今日あたりは體が少々痛いけれども何んツと頭迄一番奮鬪したので一浴した氣持の爽快さは堪らない程好い。おまけに湯上りのビールを打缺きの氷に入れて飲む時の痛快な心もちは普通人間では到底味はふ事は出來まいと思ふの……

▼藤八 ……がなやつてゐた番外朝日山兒島洋の勿切に幕下三段目の飛付五番拔きがあつた外に幕下三段目の飛付には勇猛、栃木國宇都宮鷗九州山鷗等の三人が飛入りをし幕內は七人拔き幕下は五人拔雙方互ひに拔く拔かせまいと死物狂ひの奮鬪は壯觀であつたが勝敗容易に決せず遂ち四人拔になつて宇都宮の……

▼飴賣 ……外にはヨボの……が訪つた……

▼明荷 ……

▼山麓 ……

▼草臥 ……

▼破壞 ……

▲九州旅館 釋迦嶽、朝緑、成瀬山、境川、立川、二子山外二十五名 ▲千歳館 九重、山響、道手風外二十五名 ▲小川旅館 稻葉嶽、霞ケ浦、江戸櫻外十五名 ▲山川旅館 待乳山、光風 ▲佐伯旅館 近江富士、梅川外十名

▲浪花館 竹本梅若一派の素人義太夫若杂會の二日夜の語り物は左の如し
▲壽座
▲大正館
▲黃金館

●天氣豫報追報
曇り一時晴

讀者文藝
○行く先々から名所繪葉書（一等）
▲物はつけ『送りたいものは』

募集規程
……

京日案內

普通 番外

京城本町 電二五二七 ウツボヤ書店 616

手ほどきから色々と取揃有升

▲囲碁と五目並べ

●京城本町電二九三〇番へ 遊飲食店旭町目拔の場所望の方 618

大猫牛馬に換て本注射を施せば狂犬病に罹らず●大猫診療南山町二ノ六電六九三 京城狂犬病豫防注射所 620

保證人を要す本人來談あれ 十九歳より廿歲迄市內に店員入用 京城ミノヤ自轉車店 621

●外事通辯採用 但し年齡廿五以上 京城明治町一丁目 共益公債株式會社朝鮮支部 614

●內地人共募集 京城永樂町二丁目 吳孤兒院 611

●古本高價買入 鮮堂の勉強是非御試し 電話二〇二五番 610

●雜誌創讀會 京城本町一丁目 書肆 348

婦人記者 希望者は自筆履歷書携帶本人來談 京城太平通二丁目 朝鮮公論社 615

本院は經營上の必要により京城永樂町二丁目九九商業部を設置し主として慈善行商員の斡旋を取扱ふ斯業希望の方は同支部へ御來談あれ 吳市古川町 吳孤兒院 612

●京城春川間每日自動車賃金片道四圓 京城南大門通一丁目 廣橋自動車 電話二九番 322

●鑛山測量開業 土木水利測量設計製圖調查 忠州竹內鑛務所 868

生徒大募集 鮮語新學期開始（三ケ月卒業）英語科各級補缺あり 京城青年會 608

賣家 但し舞台附き 二戸住一棟 本町二丁目 關商店 886

時計學 修理獨習講義錄 京城黃金町三 植村支店 829

商品切手 何處の商店發行のものでも高價買入 旭町二丁目 〇旭商會 844

爲春堂醫院 小兒科 內科 356

玄米乳 のホンものは 東京化學研究所指定店 京城北米倉町 607

恩給 年金 立替 京城武橋町 國江商會 619

恩給 年金 特別低利即時立替 京城若草町 西村商會 617

分拆 礦物各種 京城太平通二ノ二五 坂元分拆所 865

商業登記公告
京城地方法院

御土產物
內地土產は本町電氣會社前の伊藤骨董商店のヒスイ及高麗燒を御買ひ下さい價格は精々勉強致します 本町二 電話九九四番 骨董商 伊藤寶古堂

湯豆腐專門
▽開店御披露△
其外の料理も御好次第
京城旭町三丁目（つたや跡）お千代 電話一八二八番

新刊書御案內
圍碁及將棋圖書一覽

大阪屋號書店 京城本町 電話一〇八六

歐米樂器御案內 流行
山葉オルガン ブアイオリン マンドリン ハーモニカ 筑前琵琶 明笛 尺八 大正琴 和琴
勢山樂器店 京城本町三

故 剛義
葬送の際は多忙中態々御會葬被成下御鄭重なる御弔詞御香典を賜り……
親族 祖父 福岡利吉
總代 岡虎輔

女鳩

渡邊默禪

「三一」入智慧

「お前はこの先、御自分の體がどうなると思ひなの。それについて考へたことがおありかい」
「いゝえ、別に……」
「仕樣がないわねえ、そんな暢氣なことぢやあ」母は切長な目を光らしてたしなめるやうに言つてから急に聲を低くして「お前は露骨な話が私生兒なんでせう。正式の結婚をした仲ぢやないんだからね。其を私が手傳に贅澤してやつて、漸くのことに鳩子の認知をさせたんですよ。だから何か爲るにもその鳩子といふやつが附いて廻つて、お前は一生涯おつこをしに、五割方も損な立場に居なければなりません。で子爵家には鳩子さんといふ立派な相續人ができてゐるとだから、無論お前が跡を取るやうな譯にはいかないし。分家でもさせてくれゝば結構だが、叔父の生駒に内々探つて貰つたところでは、子爵にそんな考へが是つぱかしもないといふ話なのさ。して見るとつまりお嫁さんにやられるだけのとこで、そのお嫁に行くとしても、妾腹の子だとなれば、ろくな貰ひ手がつきやあしません。又た子爵の方でも、據所なくお前も引取つたとであつて見れば早く籍を拔いて、厄介拂ひをしたいくで頭腦が固まつてゐるとだから、どんな所へお前を押つけて了うか分らないでせう。さ、爾うなつて御覽なつまらないのはお前一人、其の先へ突かけて打棄られたやうな慘めなお嫁入をして、さてその跡はといふと姑や小姑のいびり物にされてさ、さんざん泣きを見た揚句が、それ良人が放蕩を始めた、それ借金の言譯だ、それお臺所の瓦斯が止つた、水道栓の動脈が切れた、それ子供が出來た、病氣だ腎着だツての騷ぎでもつて、只の一時だつて長い息を吐いた例がない。あゝお母樣、私死にたくなりましたと言つて來るやうなことになりますよ。そんな身上でお前、どうして／＼私に樂をさせるところの話ぢやないぢやありませんか。先づもつてあてにはならないね」

長い一生の運命を暦に造つて暗示するやうな母の詞に、秀子は淡い恐怖をおのゝく睫毛に見せて、不安らしく母の顏を瞻つてゐたが、頓て乾いた唇を嘗めながら、自ら疑ふやうに言つた。
「爾うですかねえ」
「此の豫言ばかりは圖星でせうさ。まアお前の落著く先は、新聞の廣告で内職の口を探してゐる貧乏華族か、朝の割引電車に乘りそこなつてまご／＼してゐる厭辨といふところだらうね」
「あらいやですわ。お母樣」
「オホ、、、うつかりしてゐると那麼事になりますよ」
「私し、お嫁になんか行きやしませんわ。お父樣がそんなことを被仰つたつて、斷るからよござんす」
「さ、それが蔭辨慶の言草で何にもならないといふことさ。親の持つた柄は突けないものと昔から相場が定つてゐるぢやありませんか」
「そりや慘酷よ、不道德よ。いくら親だつて、子供の自由意志を拘束してまでも、無理に結婚させるといふ權利はないでせう。そんな不法の脅迫に服從したのは凡て盲目であつた昔の女ですわ」
「そんな理窟を言つたつて織りませんよ。お父さまの方には家庭の爲といふ都合のよい口實もあれば、世間一般の因習といふ大きな味方がついてゐるんですもの」
「ぢやあ、どうすりや可いんでせう」秀子は問はるやうに眉を顰せて體を捩ふつた
「分つてゐるぢやありませんか」ときよろりと四邊を眴した時の眼色が凄かつた。
「子爵家の跡をおとんなさいな」底力のある聲で囁いた。
「だつて、爾ういふ譯には……鳩子さんといふ方が有るんですもの」
「なアに、お前の決心一つでどうにもなるさ、一體……」
と言ひかけた時に、招魂社の方から仕事の歸りらしい一群の印半纏が大きな聲で浪花節を唸つて來た。
「エー花は櫻木、人は武士、ちりての後に名は殘る、忠臣藏四十七、心赤穗の銘々傳、中にその名も大石の……。
と見た母の照子はひよいと立揚つた。
「秀さん、あつちへ行きませうよ」。

書畫用 絖 畫絹 京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町 電話一一九六番

新刊紹介

▲家庭のローマ字（七月號）五錢東京市麹町區有樂町一の三其ひろめ會
▲フースヒー（一九）五錢東京府下巣鴨町一二二其社
▲大阪朝鮮貿易商報（一四一）五錢大阪市西區北堀江通一の四其社
▲宗教（六月號）五錢京都市烏丸大谷派本願寺内佛教學會
▲大阪小間物商工新報（四六四）大阪石鹸界明鑑あり（五錢大阪市東區久寶寺町二の一四其社）
▲東洋時報（六月號）五十錢東京市麹町區内山下町一の一東洋協會
▲大陸婦人界（七月號）號を重ぬるに從つて益々内容の充實を見る本號掲載せる所朝鮮に於ける慈善事業と内地婦人のつとめ『救山社長』女大學の母編と現今の女『鳩田博士』子供の實闘九閨秀『高島女子大學教授』十六個年間女學生の教育をなして居る私の經驗と感想『宮川淑女校長』婦人の天職と使命『成瀬女子大校長』斯うした健康法と衞生法『吉安博士』謝恩組と女學校卒業生『國際勤務局長』近世文學に現はれたる男女の節操『齋藤米吉』日獨分娩戰『工藤婦人病院長』等は有益且興味多き物なり其他文苑小說例月の通り（二十錢京城大平町二大陸婦人界社）

讀者の領分

▲長い頭髮を短くしたのは惜しうないが傷をつける樣な剃方には閉口した廿八日夜大きな床屋にて（若楓）▲本町の某呉服屋は甚だ粗惡品を賣る十日程前に銘仙を買求め二三回著たら最早袖口及び裾が切れだしたよく／＼見たら絹絲にあらず南京麻を混てある其れで價は七圓九十錢大阪商人は實に信用が出來ぬ（江月子）▲龍山若き娘姉の親と其他批評を下された御方へ御承知の通り數ある産婆の中には或は兎角の評ある者もあるでせう産婆なれば皆品行正しいと極つてる理由もありますまい一を見て十を知るツてな寸法で全體を評しては少し酷ではありますまいか又月に二度三度四度も廻診して呉れぬとの言葉ですが其れは餘りに我儘な御注文でせう異狀があれば申されずとも二度が三度は愚か十度でも見舞もしませうが平安なる姉に對しては月に一回診て置けば充分で御坐いませう産婆には産婆の權威がありますから三度も四度も御機嫌伺ひに出る樣な形式的な事は不必要でせうよく世間には貴姉方の樣な駄評を下し平地に波を立たせて喜ぶ風の方がありますが産婆と云ふ職は如何なるものか位ゐ少し研究してから批評した方がおよろしいでせう（老産婆）▲小供が倒れた時其親が起さうともせずに見て居るのは親子の情愛が無いとの南山生君の説は教育の如何なるものなるかを知らぬ愚論だ、云ふ迄も無く教育の目的は獨立心の養生ではないか、南山生君の所謂親子の情愛は眞の情愛で無く小供を玩弄物視する干渉的の愛で其結果は小供の自活力を滅ずる許りだ、もつと小供の前途の幸福を考へてやり玉へ、僕は某紳士の夫人を非凡な賢夫人だと思ふ（信川愛國生）▲藤八拳會七月一日午後八時より水票橋通り赤門倶樂部に於て開會す依て同好の諸君に報す當日會費無料猶見物御勝手次第（拳會員）▲大和町三丁目の老人に云ふ育兒に就ては或は悦ばしめ或は樂ましめ或は戒しめる場合も有ります善しと惡しとを知りながら無理を云ふのが小供です其の夫婦の方が俄かに抱き上げないのは小供に是非を知らしめんとするのでせう育兒方として最も宜しきを得たものと思ふ二十日の朝刊に出した某氏は確に活眼を有つて居る（北米倉町浪人）▲景福宮の横に泥を運ぶ荷馬車は監督者が居ないと見ると勝手な所へ十何臺も縱横に置き放して人力車はおろか歩くことも出來ない上に持つて來た泥を途上に無雜作に積上るから此頃の雨にて泥濘膝を沒する有樣だ（閑口生）

商況

大阪株式特電

（判読困難）

下關期米特電

（判読困難）

仁川米豆取引所

（判読困難）

▲仁川産品調べ

祝仁川支局發展 仁川海岸町三丁目 堀商會回漕部 電話一〇番

祝仁川支局發展 文具類諸紙商 野田紙商店 仁川新町三丁目 電話四四番

祝仁川支局發展 海陸運送業 三宅回漕店 仁川花房町二丁目 電話六七番

祝仁川支局發展 仁川濱町 旭屋旅館 電話二五一番

祝仁川支局發展 海陸運送業 中條榮藏 仁川花房町二丁目 電話六三〇番

祝仁川支局發展 仁川寺町九十番地 產婆 芝モト 電話四一八番 迅速叮嚀親切を旨とす

祝仁川支局發展 和洋雜貨商 三橫商店 仁川宮町 電話七〇六番

祝仁川支局發展 貴金屬品時計商 糸岐商店 仁川本町一丁目 電話三七〇番 振替京城七一番

●正誤 六月廿日本紙掲載（淋病新藥ツヨール）廣告中三十粒七十錢は（五十五錢）五十粒一圓十錢は（八十五錢）百粒二圓は（一圓五十錢）廿五丸一圓は（八十錢）の誤に付茲に訂正す

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 増本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

生殖器眞空療法 光榮ある專賣特許と大醫の實驗證明と患者の禮狀は偉効卓絶を明決的に立證也 ▲生殖器の短小や包莖にて外形が人並でない又は陰萎早漏遺精夢精起力衰弱情味減少神經衰弱の人はハガキで申込は秘密療法の圖入說明書を無代送呈す 新療法研究所 大阪市北區北森町電車通り 東京市京橋本材木町三丁目 東京の御照會の爲東京橋に支部開設す
皮かむり自療法

運動具は京城シノサキに有り カタロク進呈 京城本町二丁目 篠崎運動具店

登錄商標 安住かとりせん香 世界各國に輸出し好評嘖々たり 各大博覧會金牌受領 効力抜群 煙は糸の如く細くして無數の蚊軍忽ち全滅す 衞生無害 例年の通り景品券附 拾函買へば景品無代進呈 到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す 大阪北區曾田町 安住大藥房 電話長五二九一番 振替大阪二六四〇

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 朝鮮銀行 電話（局）三三一、三三二、六一三 一〇六、一二六〇、一二六一 振替貯金口座京城三三二番 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

ルーデサック 男用一打四拾錢上製六拾錢 ▲花柳病自宅療法 月經帶一個八拾錢壹圓各種（送料要）婦人用一個七拾錢 京城永樂町二丁目 東京ドラッグ商會鮮滿本部

ほまれ味噌 日本醬油株式會社京城出張所 電話二四五番

大邱浦項間自動車時間 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番
上り 浦項發 安康同 永川同 河陽同 大邱着
下り 大邱發 河陽同 永川同 安康同 浦項着

金泉醴泉間自動車時間 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番
上り 金泉發 尙州着 尙州發 咸昌着 醴泉着
下り 醴泉發 咸昌發 尙州着 尙州發 金泉着
▲小荷物運搬仕り候

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
住吉、須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第六共同丸 七月三日正午出帆 七月一日後二時入
朝鮮鐵道主要驛にて當社定期船便と接續し大連にて南滿鐵道旅客貨物輸送取扱仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸（元山出帆） 月 日前八時出
仁川代理店 本町一丁目 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店 阿波國共同汽船株式會社

朝鮮郵船出帆
京城本店 ○電話長一九五二番二三番 京城南大門通 同 松原運送店
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 七月 日 釜山發
○城津丸 ○平安丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 七月 日 元山發
○忠淸丸 ○平壤丸 六月廿九日 七月六日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○德丸 七月四日 釜山發
○江陵丸 ○寅陽丸 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 七月六日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶實丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 七月五日 木浦發
○公州丸 七月 日 木浦發
○慶興丸 七月四日 木浦發
○宗信丸 七月 日 仁川發
○江原丸 七月七日 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 七月 日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 君が代丸 七月九日後四時出帆
○大有丸 七月 日 後四時出帆
○神代丸 七月六日 後四時出帆
○吉丸 七月十四日 後四時出帆
○秀丸 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
○安東丸 ○淸州丸 ○天智丸 七月十四日 七月十二日 後五時出
○鎭南浦、群山、神戸、大阪行 ○濟州丸 月 日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、姪の浦、長崎行 ○信濃川丸 ○信濃川丸 七月廿二日 七月五日 後二時出
○安東丸 ○木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 七月 日 後二時出
○鎭南浦、大連行 ○信濃川丸 ○信濃川丸 七月十七日 八月四日 後二時出
○大連直行 ○米丸 ○日州丸 月 日 正午出帆
○群山、神戸、大阪行 ○宮島丸 七月十二日 後五時出
○群山、釜山、橫濱行 ○瀛州丸 七月十八日 後二時出
○淸津、浦鹽行（元山出帆）○八城津西湖津二寄港 月 日 後二時出
○安平丸 ○宮島丸 七月十八日 七月四日 後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 ○湖北丸 七月十日 前六時出
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 内國通運會社支店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 高砂丸 三河丸 七月五日 七月十五日 七月廿六日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部